

科目名	疫学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	立川 美香、山崎 千鶴代、柿並 洋子、磯村 由美	関連する資格	保健師免許状	

授業概要

1)授業は対面で行う。2)疫学は、人間集団における健康状態とそれに関連する要因の分析を明らかにする学問である。疫学の歴史、概念、役割、及び保健医療活動に必要な疫学指標、疫学研究のデザインと手法、疫学的データの解析の基礎的知識を修得する。地域における疫学的診断、政策立案・実施・評価に必要な保健・医療の調査研究デザインについての基本的な考え方を理解する。保健師国家試験受験に際して必須の科目である。

到達目標

B3202
 疫学の定義、歴史的事例を説明することができる。
 有病率、罹患率等の保健統計指標の意義を理解する。
 疫学研究の方法を習得する。
 看護研究、地域診断など代表的なデータについて事例を示すことができる。

成績評価方法

定期試験、個人ワーク(宿題)、プレゼンテーションにより評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							5
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 疫学概念、疫学紹介 [予習]テキストのp2～p6までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
2) 集団の健康状態の把握 有病率、罹患率、致命率、暴露効果の指標 [予習]テキストのp8～p16までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
3) 疫学的研究方法(その1) 観察研究、コホート研究 [予習]テキストのp18～p33までを読んでおく(60分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：相対危険、寄与危険、寄与危険割合、人口寄与危険、人口寄与危険割合に関する演習問題
4) 疫学的研究方法(その2) 症例・対照研究、交絡、誤差 [予習]テキストのp34～p35、p41～p50までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：オッズ比に関する演習問題
5) 疫学的研究方法(その3) 介入研究、無作為化対照試験 [予習]テキストのp36～40までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
6) 疫学における因果関係の立証、アウトブレイク時の疫学調査 時間的関係、関連の強固性、量-反応関係など [予習]テキストのp51～p57まで を読んでおく(30分)[復習]今日の理解を深める(30分)	
7) スクリーニングの目的、要件、評価 [予習]テキストのp60～p64までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：敏感度、特異度、陽性反応的中率に関する演習問題
8) 人口統計の基礎 人口静態統計、人口動態統計、年齢調整死亡率、生命表 [予習]テキストのp144～p154までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：年齢調整死亡率の算出に関する演習問題
9) 疾病登録の意義と目的 [予習]テキストのp66～p73までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	次週のプレゼンテーションの準備
10) 主な疾患の疫学(その1)： 母子保健の疫学、主な疾患(がん、心血管疾患、糖尿病など)の疫学の担当学生による発表。	次週のプレゼンテーションの準備
11) 主な病疾患の疫学(その2) 難病、精神疾患、感染症、事故、学校・産業保健、環境の疫学の担当学生による発表	
12) 疫学と公衆衛生看護 社会疫学、政策疫学、臨床疫学 [予習]テキストのp98～p106までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
13) 保健統計学の基礎(その1) データの種類の分布、代表値と散布度、確率分布 [予習]テキストのp107～ p123までを読んでおく(30分)[復習]今日の理解を深める(30分)	
14) 保健統計学の基礎(その2) 統計分析、検定、帰無仮説、有意水準、p値 [予習]テキストのp124～p141までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
15) 保健医療情報の管理・活用と関連する法令・指針 [予習]テキストのp170～p182までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
授業外学習	
個人ワークの演習問題は、次回の授業時に提出すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・標準保健師講座(疫学・保健統計学)、医学書院 ・2年時の保健統計で使用したプリント ・国民衛生の動向 ・要点や演習をまとめた資料は毎回配布する。 	公衆衛生学、保健統計

課題に対するフィードバック

個人ワークの疫学演習については、翌週解答する。

備考

電卓を用意する。

科目名	成人看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	稲垣 順子、石井 智香子、加藤 かすみ、梁元 陽子	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要

成人期に罹患しやすい健康障害とそれにより健康レベル（急性・回復・慢性・終末期）が変化する患者と家族の看護を成人期の特徴を踏まえ理解する。さらに機能障害別看護の考え方と基本的な看護アプローチについて学修する。看護師としての実務経験を持つ稲垣順子・石井智香子・加藤かすみ・梁元陽子が授業を行う。

到達目標

- 【B3401】
- 1.成人が罹患しやすいがん、慢性病・生活習慣病、感染症などをはじめとした健康障害について、健康レベル（急性・回復・慢性・終末期）に即した看護の概要について説明できる。
 - 2.手術、集中治療、救急治療、リハビリテーションを受ける患者と家族の特徴と看護を説明できる。
 - 3.消化器系疾患の機能障害・呼吸器系疾患の機能障害別看護が説明できる。
 - 4.周手術期看護、心肺蘇生法に必要な技術を修得する。

成績評価方法

- ・小テストを実施します。
- ・受講時間が全授業時間数の3分の2以上あることが評価の対象です。
- ・リアクションペーパーの提出がない場合減点します。
- ・課題や小テスト・ノートの内容を評価します。
- ・中間・定期試験を実施します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							14
宿題、授業外レポート							2・2
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							2
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、成人期にある患者と家族の特徴と看護（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
2) 集学的治療を受けるがん患者と家族の看護1（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
3) 集学的治療を受けるがん患者と家族の看護2（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
4) 感染症と看護1（担当：加藤） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
5) 感染症と看護2（担当：加藤） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
6) 感染症と看護3（担当：加藤） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
7) 周手術期の看護 手術前の看護1（担当：梁元） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	小テスト
8) 周手術期の看護 手術前の看護2（担当：梁元） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
9) 周手術期の看護 手術中の看護1（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
10) 周手術期の看護 手術中の看護2（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
11) 周手術期の看護 手術直後の看護（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
12) 周手術期の看護 術後合併症予防と看護（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
13) 周手術期の看護 術後回復促進のための看護（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
14) リハビリテーション看護・成人期にある患者と家族の特徴と看護3（担当：石井） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
15) 集中治療を受ける患者・家族の看護1（担当：梁元） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
16) 集中治療を受ける患者・家族の看護2（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
17) 救急看護1（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
18) 救急看護2（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
19) 【学内演習】周手術期看護/心肺蘇生法1（担当：梁元・加藤・石井・稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	演習
20) 【学内演習】周手術期看護/心肺蘇生法2（担当：梁元・加藤・石井・稲垣） 【予習】心肺蘇生法について学修する(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	演習

21) 消化機能障害と看護 消化機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護1 (担当: 稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
22) 消化機能障害と看護 消化機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護2 (担当: 稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
23) 消化機能障害と看護 肝機能障害と看護(担当: 稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
24) 消化機能障害と看護 慢性炎症性腸疾患と看護(担当: 稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
25) 消化機能障害と看護 消化機能障害(上部消化管)と手術1(担当: 稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
26) 消化機能障害と看護 消化機能障害(下部消化管)と手術2(担当: 稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
27) 呼吸機能障害と看護 呼吸機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護(担当: 稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
28) 呼吸機能障害と看護 呼吸機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護(担当: 稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
29) 呼吸機能障害と看護 喘息・慢性閉塞性肺疾患と看護(担当: 稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
30) 呼吸機能障害と看護 呼吸器機能障害(肺切除術)と手術(担当: 稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト

授業外学習

- ・予習・復習を十分に行ってください。予習範囲は事前に連絡します。予習・復習時は、特に復習時はノートを作成してください。テキスト/授業の内容を整理することを習慣にしてください。
- ・課題、ノート提出があります。授業外で作成をしてください。
- ・予習として、教科書の該当する箇所を読んできてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト医学書院: 系統看護学講座「臨床外科看護総論」「臨床外科看護各論」「成人看護学総論」「救急看護学」「消化器」「呼吸器」参考図書: 1. 講義から実習へ1-3、竹内登美子、医歯薬出版株式会社	成人看護学総論、成人看護学、成人看護学、成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

- ・課題、ノートの内容に適切コメントします。
- ・出欠票・リアクションペーパーに記載された質問などには、授業中にフィードバックします。

備考

- ・初回授業のガイダンスに必ず出席してください。
- ・授業の出欠席は、出席票・リアクションペーパーで確認します。
- ・授業開始後、遅刻・早退・中途退室は時間を記載し記録に残します。その時間数を教員計算し全授業時間数の3分の2以上満たしているか確認します。
- ・試験の受験資格は全授業時間数の3分の2以上とします。受講時間数を教員から言うことはありません。各自で確認してください。

- ・授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	成人看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	石井 智香子、稲垣 順子、加藤 かすみ、梁元 陽子	関連する資格	看護師・保健師・養護教諭	

授業概要

- ・成人期に生じる代表的な健康障害の病態・徴候/症状を機能障害別に理解し、健康障害に応じた患者・家族の看護を学ぶ。
- ・看護師としての実務経験を持つ石井智香子・稲垣順子・加藤かすみ・梁元陽子が授業を行う。

到達目標

【B3402】

- 1.各機能障害に伴う主要な病態・徴候/症状のアセスメントと看護を理解できる。
- 2.成人期に生じやすく各機能障害の原因となる疾病、およびその病態・徴候/症状・検査・治療の理解をもとに、健康障害を有し様々な健康レベルにある対象の特徴と看護を理解できる。
- 3.心電図・血糖測定、健康学習支援の基礎的技術を修得する。

成績評価方法

成績評価方法

- ・出欠票・リアクションペーパーを必ず提出してください。
- ・授業出席時間が全授業時間の3分の2以上あることが評価の対象です。
- ・課題、各授業単位での適時小テスト、ノートの内容を評価します。
- ・中間・定期試験を実施します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							14
宿題、授業外レポート							2・2
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク						演習時に実施	
演習						課題あり	2
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、循環機能障害と看護 循環機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護1(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	1)-28)の授業:適時、小テストあり
2) 循環機能障害と看護 循環機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護1(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
3) 循環機能障害と看護 循環機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護2(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	課題
4) 循環機能障害と看護 心不全と看護(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
5) 循環機能障害と看護 虚血性心疾患と看護(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
6) 循環機能障害と看護 心・血管リハビリテーションと看護(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	課題準備予告
7) 循環機能障害と看護 不整脈(ペースメーカー植込み術を含む)と看護(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	課題準備予告
8) 循環機能障害と看護 動脈系疾患(内科的療法/手術療法・ステント内挿術含む)と看護(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
9) 循環機能障害と看護 心疾患(冠動脈バイパス術、弁形成・弁置換術等)の手術と看護(担当:梁元)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる	
10) 内分泌・代謝機能障害と看護 内分泌・代謝機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護、下垂体・副腎を中心とした内分泌疾患と看護(担当:石井)【予習】【復習】これまでと同様に行う	
11) 内分泌・代謝機能障害と看護 糖尿病と看護1(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	課題準備予告
12) 内分泌・代謝機能障害と看護 糖尿病と看護2(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	課題準備予告
13) 内分泌・代謝機能障害と看護 甲状腺疾患と看護(手術療法を含む)(担当:梁元)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
14) 運動機能障害と看護 運動機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護(担当:稲垣)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
15) 運動機能障害と看護 骨、関節、筋肉、神経の手術と看護(担当:稲垣)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)(60分)	
16) 運動機能障害と看護 脊髄損傷・神経難病と看護(担当:稲垣)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
17) 腎排泄・生殖器機能障害と看護 腎排泄機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	課題準備予告
18) 腎排泄・生殖器機能障害と看護 ネフローゼ症候群・腎不全と看護(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	課題準備予告
19) 腎排泄・生殖器(男性)機能障害と看護 腎、尿路、前立腺の手術と看護(担当:稲垣)【予習】教科書の該当ページを読んでもくる(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
20) 生殖器(女性)機能障害と看護 生殖器(女性)機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護、乳がん・子宮がん・卵巣がんと看護(担当:梁元)【予習】【復習】これまでと同様に行う	

21)	感覚・認知機能障害と看護 感覚・認知機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護1(担当:加藤)【予習】教科書の該当ページを読んでくる(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
22)	感覚・認知機能障害と看護 感覚・認知機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護2(担当:加藤)【予習】教科書の該当ページを読んでくる(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
23)	感覚・認知機能障害と看護 脳卒中と看護(担当:加藤) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
24)	感覚・認知機能障害と看護 脳(下垂体含む)の手術と看護(担当:加藤) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
25)	生体防御(免疫・造血)機能障害と看護 免疫機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護、膠原病(全身性エリテマトーデス)と看護(担当:石井) 【予習】【復習】これまでと同様に行う	
26)	生体防御(免疫・造血)機能障害と看護 造血機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護(担当:石井)【予習】教科書の該当ページを読んでくる(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
27)	生体防御(免疫・造血)機能障害と看護 白血病と看護(担当:石井) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
28)	感覚器機能障害と看護 感覚機能障害(皮膚・眼・耳鼻咽喉・歯・口腔)の病態・徴候/症状アセスメントと看護(担当:稲垣) 【予習】【復習】これまでと同様に行う	
29)	成人看護学 演習 :検査と看護 心電図電極位置確認/血糖測定(担当:梁元・加藤・稲垣・石井) 【予習】【復習】これまでと同様に行う	課題、グループワーク、小テスト
30)	成人看護学 演習 :健康学習支援 食事療法、運動療法、行動変容を促進する看護(担当:梁元・加藤・稲垣・石井) 【予習】【復習】これまでと同様に行う	課題、グループワーク、小テスト

授業外学習

- ・予習・復習を十分に行ってください。予習範囲は事前に連絡します。予習・復習時、特に復習時はノートを作成してください。テキスト/授業の内容を整理することを習慣にしてください。
- ・課題、ノート提出があります。授業外で作成をしてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト:医学書院:系統看護学講座「臨床外科看護総論」「呼吸器」「循環器」「血液・造血器」「内分泌・代謝」「脳・神経」「腎・泌尿器」「女性生殖器」「運動器」「アレルギー」膠原病 感染症「皮膚」「眼」「耳鼻咽喉」「歯・口腔」参考図書:1.講義から実習へ1、竹内登美子、医歯薬出版株式会社	成人看護学総論、成人看護学、成人看護学、成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

- ・ノートの内容に適時コメントします。
- ・出欠票・リアクションペーパーに記載された質問などには、授業中にフィードバックします。

備考

- ・初回授業のガイダンスは、必ず出席してください。
- ・授業の出欠席は、出欠票・リアクションペーパーで確認します。
- ・授業開始後の遅刻・早退・途中退室は時間を記載し、記録に残します。その時間を合算し、全授業時間の3分の2以上の出席を満たしているかを確認します。
- ・試験の受験資格は、全授業時間数の3分の2以上の出席です。出欠席管理は、各自、責任をもって行ってください。

- ・授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	リハビリテーション看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	清水 佑子	関連する資格		

授業概要

リハビリテーションを必要としているのは疾病や外傷、加齢などにより、身体の構造や生理的機能・生活機能に障害を持っている人たちである。そうした疾病や傷害をかかえていても生活行動拡大・社会参加を行い、生き生きと生活を送ることを目指すのがリハビリテーションである。発症当初から将来を見通した医療において、医師を中心とするリハビリテーションチームの中で看護職の果たす役割を学習する。
清水佑子は、急性期病院の救急、整形外科病棟、内科病棟の看護師の実務経験をもとに、各障害と障害におけるリハビリテーション看護についての授業を行う。

到達目標

- 【B3403】
1. リハビリテーションの理念を述べるができる。
 2. 機能回復について何が必要であるかを学ぶことで、健康障害を持つ人のADLやQOLの向上について述べるができる。
 3. リハビリテーションチームにおける看護職の果たす役割や多職種連携について説明できる。
 4. 代表的な機能障害の特徴的な課題とそれに対する援助方法を説明できる。

成績評価方法

講義ごとに行う小テスト、定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) リハビリテーション概論（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	
2) 多職種連携のあり方（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
3) 運動器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
4) 脳血管系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
5) 脊髄損傷とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
6) 呼吸器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
7) 循環器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
8) 感覚器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>・ 授業日は変更となる可能性がありますので、掲示板、Google Classroomで確認してください。</p> <p>・ 予習として、教科書の該当する箇所を読んでおいてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト・系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院</p> <p>参考図書・医学書院 専門分野 運動器 ・医学書院 専門分野 脳・神経 ・医学書院 専門分野 呼吸器 ・医学書院 専門分野 循環器</p>	<p>人体の構造と機能、疾病論 ・ 保健医療福祉行政論 成人看護学 ・ ・ 老年看護学 ・</p>

課題に対するフィードバック

・小テストは採点をしたのち返却します。

備考

・人体の構造と機能と疾病論（病態・診断・治療）の授業内容を理解していることを前提に授業を行います。当該授業の看護に必要な人体の構造と機能、疾病論の資料内容を確認しておいてください。

科目名	小児看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	金川 真理	関連する資格	看護師	

授業概要

一人一人の子どもの権利を擁護し、子どもに安全で安楽なケアを提供するために、科学的根拠に基づいた看護実践能力を修得する。小児に多い疾患および小児期特有の疾患の病態、診断、治療、予後、看護について系統別に学習し、臨床実習に応用できるようにする。
 金川真理は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業と演習の指導を行う。

到達目標

B3404

- 1) あらゆる年齢、健康レベルにある子供が主体となって、治療、検査、処置に取り組むための看護援助ができる。
- 2) 子どもの最善の利益を目指した看護を実践することができる。
- 3) 子どもの権利条約と倫理的配慮に基づいた看護実践ができる。
- 4) 子どもの成長発達を理解し発達段階に応じた看護実践ができる。
- 5) 子どもを育む家族とパートナーシップを形成し、子どもにとって最善のケアを提供することができる
- 6) 生態機能に影響をおよぼす要因を理解し、異常や障害が起こるメカニズムについて理解する。
- 7) 主要疾患の要因、病態、検査、治療、看護が理解できる。
- 8) 患児の自覚症状や身体所見と関連した病態生理学的知識を理解する。

成績評価方法

課題(12点)、小テスト(8点)・中間試験(20点)・期末試験(60点)を総合的に評価し、科目が60点以上の場合に単位取得を認める。再試験は1回に限り行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					8
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			12
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、第19章 事故・外傷と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
2) 第19章 事故・外傷と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
3) 第1章 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常、第2章 新生児疾患（砂川医師）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）、【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
4) 第7章 呼吸器疾患、第9章 消化器疾患（砂川医師） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
5) 第1章 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常、第2章 新生児疾患を持った子どもの看護（金川）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）、【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	小テスト
6) 第7章 呼吸器疾患を持った子どもの看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
7) 第3章 代謝性疾患と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
8) 第9章 消化器疾患を持った子どもの看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
9) 第8章 循環器疾患（砂川医師） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
10) 第18章 精神疾患（砂川医師） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
11) 第8章 循環器疾患を持った子どもの看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	小テスト
12) 第18章 精神疾患を持った子どもの看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
13) 第4章 内分泌疾患と看護、第5章 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患と看護（金川）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）、【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
14) 第6章 感染症と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
15) 第10章 血液・造血器疾患と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	小テスト
16) 第11章 悪性新生物と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
17) 第12章 腎・泌尿器および生殖器疾患と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
18) 第12章 腎・泌尿器および生殖器疾患と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
19) 第13章 神経疾患と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	中間テスト
20) 第14章 運動器疾患と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	事前課題

21) 演習 コミュニケーション・日常生活援助技術（食事・オムツ交換・清潔・衣生活・移動）・子どもの事故防止（金川）【予習】教科書の該当ページを読む（60分）、【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
22) 演習 コミュニケーション・日常生活援助技術（食事・オムツ交換・清潔・衣生活・移動）・子どもの事故防止（金川）【予習】教科書の該当ページを読む（60分）、【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	事後課題 事前課題
23) 演習 診療・処置・検査時の看護技術（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
24) 演習 診療・処置・検査時の看護技術（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	事後課題 事前課題
25) 演習 付章 事例による看護過程の展開1-（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
26) 演習 付章 事例による看護過程の展開1-（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	事後課題 事前課題
27) 演習 付章 事例による看護過程の展開2-（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
28) 演習 付章 事例による看護過程の展開2-（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	事後課題
29) 第15章 皮膚疾患と看護、第16章 眼疾患と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	小テスト
30) 第17章 耳鼻咽喉疾患と看護（金川） 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	

授業外学習

- ・授業計画に記載されている教科書の該当単元の予習をした上で講義に臨んで下さい。
- ・小テストは講義済みの内容から出題するため、復習を欠かさず行って下さい。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
1) 奈良間美保、他：系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論 小児看護学2、医学書院 2) 奈良間美保、他：系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論・小児臨床看護総論 小児看護学1、医学書院	母性看護学 公衆衛生看護学 学校保健 看護過程論 小児看護学実習

課題に対するフィードバック

- ・課題内容に適時コメントします。
- ・小テスト、中間試験は採点して返却する。全体に向けた講評の中で理解が不十分な点や間違いやすい点等は、授業中にフィードバックします。

備考

- ・授業の出欠席は、出席カード・課題で確認します。
- ・授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
- ・試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認して下さい。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	母性看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	安成 智子、宮本 心貴子	関連する資格	看護師	

授業概要

本授業は対面で実施する。

母性看護の対象となる人々の健康状態を系統的にアセスメントし、科学的な根拠に基づいて援助する方法を学ぶ。

特に、母性としての営みの顕著な妊娠・分娩・産褥期にある母性と胎児及び新生児について理解し、母性機能の健全な発達や母子の安全を守る看護の在り方を、事例の展開や技術演習などを通して学ぶ。

安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、妊産褥婦・胎児及び新生児の健康に関する知識を学生に理解させ、技術を修得させる。また、事例の展開を通して系統的な対象者の理解と看護ケアの選択を促す。

宮本心貴子は、助産師としての実務経験をもとに、妊産褥婦・胎児及び新生児の健康に関する知識を学生に理解させ、技術を修得させる。また、事例の展開を通して系統的な対象者の理解と看護ケアの選択を促す。

到達目標

B3405

1. 妊娠期・分娩期・産褥期の女性および胎児・新生児に生じる変化を理解することができる。
2. 対象者のヘルスアセスメントに必要な知識と技術および、母子の成長・発達を促し安全を守る援助技術を修得することができる。
3. 周産期のウェルネス型看護過程を理解し、事例を用いた看護展開ができる。
4. 周産期に予測される正常からの逸脱と、その際の看護援助を理解することができる。

成績評価方法

定期試験(70点)・小テスト及び演習時のワークシート(20点)・授業外レポート(10点)を総合的に評価する。

科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。科目得点が60未満の場合は再試験(筆記試験)を行い、再試験の素点が60点以上の場合に単位取得を認める。

評価項目	評価基準						評価割合(%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)		○					70
小テスト、授業内レポート				○			20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 講義オリエンテーション（安成） 妊娠期の看護(母性看護学 の復習) 【予習】シラバスを読んでおくこと（10分） 【復習】妊婦体験(ジャケット装着またはレポート)（20分）	妊婦体験演習
2) 妊娠期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】妊婦体験（ジャケット装着またはレポート）（20分）	妊婦体験演習
3) 妊娠期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
4) 妊娠期の異常と看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト
5) 演習：妊婦健康診査で用いる技術（宮本） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
6) 演習：妊婦健康診査で用いる技術（宮本） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
7) 分娩期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
8) 分娩期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
9) 分娩期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
10) 分娩期の異常と看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト
11) 演習：分娩期の看護で用いる技術（安成） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
12) 演習：分娩期の看護で用いる技術（安成） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
13) 産褥期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
14) 産褥期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
15) 産褥期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
16) 産褥期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
17) 産褥期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
18) 産褥期の異常と看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト
19) 新生児期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
20) 新生児期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	

21) 新生児期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
22) 新生児期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
23) 新生児期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
24) 新生児期の異常と看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	小テスト
25) 演習:産褥期の看護で用いる技術 (宮本) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
26) 演習:産褥期の看護で用いる技術 (宮本) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
27) 演習:母性看護における看護過程 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
28) 演習:母性看護における看護過程 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
29) 演習:新生児期の看護で用いる技術 (宮本) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
30) 演習:新生児期の看護で用いる技術 (宮本) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート

授業外学習

1. 授業計画に記載されているテキストの該当単元の予習をして下さい。
2. 小テストは講義済みの内容から出題するため、復習を欠かさず行って下さい。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学 医学書院	人体の構造と機能、看護過程論、家族論・家族関係論、小児看護学、母性看護学、母性看護学実習

課題に対するフィードバック

ワークシートは採点して返却する。
理解が不十分な点や間違いやすい点への追加説明を行う。

備考

科目名	老年看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	和氣 さち、江口 恵里	関連する資格	保健師	

授業概要

本授業は対面で実施する

老年看護学 の学びをふまえ、高齢者特有の健康問題（症状・疾患）、生活機能障害について理解を深め、QOLの向上を主眼に高齢者の健康レベルに応じた看護のアプローチについて、事例を通して学ぶ。また、また、倫理的課題をふまえ、高齢者のおかれている状況を総合的にアセスメントし、高齢者及びその家族を対象とした看護活動を習得し、実践へつなげていく。

和気は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学について授業を行う

江口は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学について授業を行う

到達目標

B3406

1. 老年期に起こりやすい疾患や症状の病態生理と生活機能の変化が説明できる。

2. 健康障害や生活障害をもつ高齢者への看護に必要な知識を説明できる。

3. 加齢と疾患の影響による生活の障害を、事例をもとにアセスメントし、看護の方向性を導くことができる。

高齢者の生理的老化と病的老化、老年期に特徴的な疾患の病態生理、それに伴う生活機能の変化をふまえて、健康障害・生活障害をもつ高齢者の病態とアセスメント、高齢患者のリスクマネジメント等を網羅的に学ぶ。

成績評価方法

授業態度、グループワークの参加度、課題（提出物）を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 老年看護学 ガイダンスと老年看護学 の復習と看護の展開について（和氣） 予習：テキスト ～XIVまでを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
2) 臨床判断能力 手がかりの認知、手がかりの分析、仮設の優先順位（江口） 予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
3) 臨床判断能力 仮設の優先順位、解決策と行動、結果の評価（江口） 予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
4) 臨床判断能力 その人らしさを尊重した看護を考える（江口） 予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
5) 看護過程の展開（事例を用い関連図と看護の焦点のポイントを考える）（和氣） 予習：関連図を書く（30分） 復習：関連図と看護の焦点について学習を深める（60分）	グループワーク
6) 看護過程の展開（事例を用い関連図と看護の焦点のポイントを考える）（和氣） 予習：関連図を書く（30分） 復習：関連図と看護の焦点について学習を深める（60分）	宿題・授業外レポート グループワーク
7) 認知症とコミュニケーション（江口） 予習：テキストp56～71までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
8) 脳神経系疾患（パーキンソン病）（和氣） 予習：テキストp73～90までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
9) 運動器疾患（大腿骨頸部骨折）（和氣） 予習：テキストp111～124までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
10) 呼吸器疾患（誤嚥性肺炎）、循環器系疾患（心不全）（和氣） 予習：テキストp129～142、p164～179までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
11) 皮膚疾患（老人性皮膚掻痒症）・眼疾患（白内障）（和氣） 予習：テキストp215～227、p259～271までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク 小テスト
12) 高齢者と薬（和氣） 予習：「老年看護学」p321～326までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
13) 高齢者特有のリスクマネジメント（和氣） 予習：「老年看護学」p388～406までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
14) 人生の最終段階を見据えた高齢者のとらえ方と意思決定支援（和氣） 予習：テキストpxi、「老年看護学」p353～358を読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク 小テスト 授業外レポート
15) 老年看護学の倫理的な課題（和氣） 予習：実習のときにあった倫理問題について考えてくる（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
授業外学習	
授業計画に沿って学習目標を提示します。テキストの単元を熟読して学習目標の習得に取り組んで下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：「生活機能からみた老年看護過程」 医学書院第4版 参考書：最新老年看護学（日本看護協会出版会）、高齢者の健康と障害（メディカ出版）、高齢者の実践（メディカ出版）、終末期看護エンドオブライフケア（メヂカルフレンド社）、看護倫理（医学書院）老年看護学（医歯薬出版株式会社）</p>	<p>基礎看護学、成人看護学、老年看護学、老年看護学実習・総合看護学実習、疾病論、</p>

課題に対するフィードバック

レポートは、確認後返却し、各自にコメントもしくは次回の授業時にコメントする

備考

課題の提出は指定日時を厳守すること

科目名	精神看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	柿並 洋子、佐藤 美幸	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

精神看護学 で学習した知識をもとに、精神障害者に焦点をあて、それらの人々へ精神看護を実践していくための知識と技術を学ぶ。症状のアセスメントとアプローチの基本、日常生活援助技術、社会復帰に向けての援助等、患者・看護師関係を活用しながら、事例を通して学習する。

柿並洋子・佐藤美幸は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、精神看護学 について授業を行う。

到達目標

B3407

- ・精神に障害を抱える人への看護援助について説明できる
- ・精神疾患・障害をもつ人への看護の要点を述べることができる
- ・精神科における治療環境と安全管理、倫理的配慮について述べるができる。
- ・他職種との連携について述べるができる

成績評価方法

定期試験 80%
小テスト 20%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○				
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 精神症状と看護（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
2) 精神症状と看護（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	グループワーク
3) 精神障害を持つ人へのセルフケアの援助（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
4) 事故防止・安全管理と倫理的配慮（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
5) 事故防止・安全管理と倫理的配慮（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	グループワーク
6) 精神障害を持つ人へのセルフケアの援助（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	小テスト
7) 看護援助の基本構造（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
8) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 双極性障害、うつ病（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	グループワーク
9) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 統合失調症（急性期）（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
10) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 統合失調症（慢性期）（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
11) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 自閉症スペクトラム障害、AD/HD（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
12) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 アルコール依存症（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
13) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 神経性やせ症摂食制限型（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
14) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 強迫性障害、パーソナリティ障害（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
15) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 身体合併症（がん・肺炎・骨折）（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
授業外学習	
精神看護学 の学習内容は必ず復習しておき、授業に臨むこと。 予定表に示された教科書の該当ページ、配布されたプリント類は必ず熟読しておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論精神保健 新体系看護学全書 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社	精神看護学 精神看護学実習

課題に対するフィードバック

小テスト終了後、後日、講義内で小テストの解説を行う。

備考

私語・携帯電話等の使用は厳禁

科目名	成人看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	加藤 かすみ、梁元 陽子、稲垣 順子	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要
 最新医療が行われる医療現場における医療提供体制・看護師の役割・対象のおかれている状況について、特殊な治療・検査の場所で行われる専門的な治療や援助および他職種の役割を学ぶことができる。
 看護師として実務経験を持つ加藤かすみ・梁元陽子・稲垣順子が、実務経験をもとに実習指導を行う。

到達目標	成績評価方法
【B3408a】 <慢性期実習> 1.各治療・検査における患者の特徴を述べるができる。 2.各治療・検査における看護の特徴を述べるができる。 3.各治療・検査の行われる施設・設備の特徴や医療機器の取り扱いについて注意事項を述べるができる。 4.通院治療を必要とする患者とその家族を支援するための社会資源について述べるができる。 <急性期実習> 1.各治療における患者とその家族の特徴を述べるができる。 2.各治療における患者と家族への看護の必要性と役割機能を理解し、基本的な援助を述べるができる。 3.各治療の行われる場所の構造と機能の特徴について述べるができる。 4.各治療における他職種との連携を述べるができる。	・提出記録物、実習態度など「成人看護学実習評価表」に基づき評価する（100%）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習オリエンテーションブック」に沿って実習を行う。</p> <p>・成人看護学実習 は次の場所で実習する。なお、実習場所はCovid19の影響で異なることがある。</p> <p><慢性期実習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学療法処置室 2. 血液浄化室 3. CT/MRI検査室 4. 内視鏡室 5. 地域連携・患者支援室 <p><急性期実習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 集中治療室 2. 救急部門 3. 手術室 <p>参照：「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習」</p>	
授業外学習	
<p>【事前学習】関連する資料・課題等については活用しやすいように工夫して作成し、ファイルしてください。</p> <p>【事後学習】記録については、毎日記載してください。（180分）</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>看護学臨地実習の心得「各領域共通」、看護学科健康管理ノート、基礎看護技術項目の履修領域と到達度 医学書院 系統的看護学講座 成人看護学 [1]～[15] 臨床外科総論 救急看護学 緩和ケア論 参考：医学書院 系統看護学講座 基礎看護技術</p>	<p>成人看護学総論、成人看護学 、成人看護学 . 成人看護学 、成人看護学実習 、成人看護学実習</p>

課題に対するフィードバック

・実習記録は必要時コメントを入れて返却します。

備考

・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . .」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . オリエンテーションブック」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に内容をよく読んで理解し、遵守してください。

科目名	成人看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	加藤 かすみ、梁元 陽子、稲垣 順子	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要

慢性期にある成人患者の看護を通して患者・家族を理解し、生活機能の回復、合併症および二次障害の予防、苦痛緩和、健康の維持・増進、生活適応、に向けた看護実践に必要な知識、技術、態度を修得する。さらに患者・家族の健康問題解決に向けた社会資源の活用や看護の継続性ならびに多職種との連携について学ぶ。
 看護師として実務経験を持つ加藤かすみ・梁元陽子・稲垣順子が、実務経験をもとに実習指導を行う。

到達目標

- 【B3409a】1.慢性期にある患者・家族の尊厳や価値観を尊重し、援助的人間関係を構築する。
 2.慢性期にある患者の対象特性・健康特性を説明できる。
 1)患者の病態・症状・機能的変化、これから起こりうる状態の変化について説明できる。
 2)患者・家族の病態や治療の理解や生活の規制の受け止め、意思決定の方略について説明できる。
 3)治療の必要性、患者の身体的・精神的・社会的側面に及ぼす影響を説明できる。
 3.患者の全身状態を把握し、生活機能の回復、二次障害の予防、苦痛緩和、健康の維持・増進、生活適応に向けた看護を実践できる。
 4.慢性期にある患者・家族のセルフケア能力をアセスメントし、疾病および生活が自己管理できるような看護を実践できる。
 5.慢性期における看護の継続性と多職種連携、早期回復や生活の適応に向けた社会資源の活用について説明できる。
 6.カンファレンスを通じて多角的・総合的な視点から看護を考察できる。
 7.看護学生として自らの課題を明らかにし、医療チームの一員であり且つ専門職者としてとるべき態度を考察できる。
 8.自己が実践した看護についてプレゼンテーションできる。

成績評価方法

・提出記録物、実習態度など「成人看護学実習評価表」に基づき評価する(100%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習オリエンテーションブック」に沿って実習を行う。</p> <p>・2週目の木・金曜日でプレゼンテーションの準備・発表を学内で行う。プレゼンテーション内容は、患者紹介、病態生理、看護計画、実施、評価であり、ペーパーレスで行う。質問に対して準備しておく。また、テーマカンファレンスも行う。</p>	
授業外学習	
<p>バイタルサインの測定や基礎的な看護技術は実習前までに練習しておく。</p> <p>実習先の診療科が決まったら、その診療科の特徴的な疾病や病態/症候とケアについて予習する。</p> <p>受け持ちが来ましたら、すぐに病態関連図を記載する。</p> <p>指導者に質問されたことや患者様に質問されたことは必ず翌日までに調べてくる。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>成人看護学 の講義で使用したテキスト 基礎から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院 実践 情報収集・アセスメント 学研 NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 医学書院</p>	<p>成人看護学総論、成人看護学 、成人看護学 、成人看護学 、成人看護学実習 、成人看護学実習</p>

課題に対するフィードバック

・実習記録は必要時コメントを入れて返却します。

備考

・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . .」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . オリエンテーションブック」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に内容をよく読んで理解し、遵守してください。

科目名		成人看護学実習					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	3年	後期			
担当者名	稲垣 順子、加藤 かすみ、梁元 陽子	関連する資格	看護師・保健師				
授業概要 周手術期にある患者・家族を理解し、手術療法による侵襲から生活機能の回復、社会復帰に向けた看護実践に必要な知識、技術、態度を修得する。さらに患者・家族の健康問題解決に向けた社会資源の活用や看護の継続性ならびに多職種との連携について学ぶ。 看護師として実務経験を持つ稲垣順子・加藤かすみ・梁元陽子が、実務経験をもとに実習指導を行う。							
到達目標 【B3410a】 1.周手術期にある患者・家族の尊厳や価値観を尊重し、援助的人間関係を構築する。 2.周手術期にある患者の対象特性・健康特性を説明できる。 1)患者の病態・症状・機能的変化について説明できる。 2)患者・家族の病態や治療の理解や受け止め、意思決定の方略について説明できる。 3)手術療法が患者の身体的・精神的・社会的側面に及ぼす影響を説明できる。 3.手術療法の必要性、術式、麻酔法、手術侵襲による身体への影響について説明できる。 4.手術療法が術後回復に及ぼす影響について説明できる。 5.手術療法を受けた患者の全身状態を把握し、回復の促進、術後合併症・二次障害の予防、苦痛緩和、生活適応に向けた看護を実践できる。 6.周手術期における看護の継続性と多職種連携、早期回復や生活の適応に向けた社会資源の活用について説明できる。				成績評価方法 ・提出記録物、実習態度など「成人看護学実習評価表」に基づき評価する(100%)			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習オリエンテーションブック」に沿って実習を行う。</p> <p>・2週目の木・金曜日でプレゼンテーションの準備・発表を学内で行う。プレゼンテーション内容は、患者紹介、病態生理、看護計画、実施、評価であり、ペーパーレスで行う。質問に対して準備しておく。また、テーマカンファレンスも行う。</p>	
授業外学習	
<p>バイタルサインの測定や基礎的な看護技術は実習前までに練習しておく。</p> <p>実習先の診療科が決まったら、その診療科の特徴的な疾病や病態/症候とケアについて予習する。</p> <p>受け持ちが来ましたら、すぐに病態関連図を記載する。</p> <p>指導者に質問されたことや患者様に質問されたことは必ず翌日までに調べてくる。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>成人看護学 の講義で使用したテキスト 基礎から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院 実践 情報収集・アセスメント 学研 NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 医学書院</p>	<p>成人看護学総論、成人看護学 . . .成人看護学 . . .成人看護学 . . .成人看護学実習 . . .成人看護学実習</p>

課題に対するフィードバック

・実習記録は必要時コメントを入れて返却します。

備考

・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . .」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . オリエンテーションブック」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に内容をよく読んで理解し、遵守してください。

科目名	小児看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	金川 真理	関連する資格	看護師	

授業概要
 小児の成長発達過程とさまざまな健康レベルにある小児を理解するとともに、健康障害をきたした小児とその家族への看護実践方法について学ぶ。小児科病棟、小児科外来、幼稚園にて2週間の実習を行う。
 金川真理は、看護師としての実務経験をもとに、本科目の実習指導を行う。

到達目標 B3411a 到達目標 1) 疾病や障害をもつ小児とその家族を理解し、良好な関係形成ができる。 2) 疾病や障害をもつ小児に対して、成長発達の促進、健康維持増進に向けた援助が実施できる。 3) 受け持ち患児の看護過程を展開し、適切な援助を理解するとともに、その一部が実施できる。 4) 小児看護に必要な基本的看護技術を習得する。 5) 実習を通して、小児看護の役割を考えることができる。 6) 外来を訪れる患児とその家族に対する援助と看護の役割を述べる ことができる。 7) ハイリスク新生児と家族に必要な看護が理解できる。 8) 健康な幼児の成長発達の特徴が理解できる。 9) 基本的生活習慣の状況と自立を促すための関わり方が理解できる。 10) 年齢に応じた遊びの特徴が理解できる。 11) 子どもに多い事故を理解し、安全と健康の管理方法が理解できる。	成績評価方法 事前課題、提出記録物、レポート等から総合的に評価する。
---	---------------------------------------

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		85

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習オリエンテーション時に配布する「2023年度看護学臨地実習ガイドブック 小児看護学実習」に沿って実習を行う。</p>	<p>実習前の事前課題、実習中のグループ演習やグループカンファレンス</p>
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習課題を必ず行って臨むこと。 ・既習科目はすべて復習して臨むこと。 ・事後の振り返り・まとめ・助言・指導を受けての記録の修正ができること。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ol style="list-style-type: none"> 1) 2023年度看護学臨地実習ガイドブック 小児看護学実習 2) 奈良間美保、他：系統看護学講座 専門分野 小児看護学 概論・小児臨床看護総論 小児看護学1、医学書院 3) 奈良間美保、他：系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論 小児看護学2、医学書院 	<p>小児看護学 ・小児看護学 母性看護学 看護過程論</p>

課題に対するフィードバック

- ・実習前の課題、実習中の記録物、実習後レポートについてはコメントをつけて返却する。
- ・追加修正が必要な場合は、再提出を求め、実習到達目標の達成を図る。

備考

- ・実習オリエンテーション時に配布する「2023年度看護学臨地実習ガイドブック 小児看護学実習」の内容をよく読んで理解し、遵守して下さい。

科目名	母性看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	安成 智子、宮本 心貴子	関連する資格	看護師	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 妊産褥婦および胎児/新生児とその家族の特徴を包括的に理解し、援助するための看護実践方法について学ぶ。
 臨地実習と学内実習を組み合わせで行う。
 安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、学生の技術習得ならびに看護過程の展開を指導する。
 宮本心貴子は、助産師としての実務経験をもとに、学生の技術習得ならびに看護過程の展開を指導する。

到達目標	成績評価方法
B3412a 1. 妊婦/胎児とその家族のアセスメントを通して、対象者の全体像を理解することができる。 2. 産褥期の母子のよりよい適応や成長発達を促すようなウェルネス型の看護過程を展開することができる。 3. 母子保健医療チームの一員としての看護師の役割や、他職種との連携について理解することができる。	知識・技術を用いて対象を理解し、看護を展開しようとする能力を、意欲・態度を含め、本人の行動と記録から総合的に評価する。 実習記録60%・授業態度20%・プレゼンテーション(事例発表/検討)20%とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○	○				60
授業態度・授業参加度			○	○	○		20
プレゼンテーション	○	○		○			20
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		
実習	○	○	○	○	○		

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>看護学臨地実習ガイドブック参照 担当教員が各担当施設での臨地実習を指導する。</p>	<p>学内演習では、DVD視聴、ロールプレイ等を通して模擬患者への看護実践を予習する。 臨地実習では、受持ち母子および妊婦に対するアセスメントをはじめとする看護過程の展開(記録)を行う。 事例検討会ではグループディスカッションを行う。</p>
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>各自で母性看護学 のテキスト・配布資料を活用すること。 その他、教員が参考書・DVD教材を準備する。</p>	<p>看護過程論 母性看護学 母性看護学</p>

課題に対するフィードバック

臨地・学内実習のいずれにおいても、課題は指定された日に提出すること。教員は必要部分について指導ならびに再提出を指示し、口頭と記録用紙のコメントにてフィードバックを行う。

備考

実習の基盤となる知識として「母性看護学」の履修内容は非常に重要である。事前学習を十分にしておくこと。

科目名	老年看護学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	4年	前期			
担当者名	和氣 さち、江口 恵里		関連する資格				
授業概要 実際の療養場面を通して老年期にある人々を身体的、精神的、社会的側面から包括的(総合的)に理解し、健康の回復、維持・増進を目指した個別的・倫理的看護を実践するための基礎的能力を養う。 また、高齢者を中心とした保健・医療・福祉における多職種連携のあり方と、看護の役割を学ぶ。さらに、自分自身の高齢者観を深め、看護職としての基本的態度・姿勢を養う。 和気は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学実習において指導を行う。 江口は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学実習において指導を行う。							
到達目標 【B4401a】 1. 疾患や健康障害を有している高齢者を生活者として援助することができる 2. 高齢者の健康上の課題に対応した個別的な看護実践ができる 3. 高齢者に対して、尊厳性に基づいた関わりができる。 4. 実習を通して、自分自身の高齢者観を深めることができる。			成績評価方法 臨地実習病院評価・学生自己評価・教員評価と実習態度、実習記録、レポート等を総合して評価する。出席状況のうち、欠席や早退は減点対象とする。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：看護学臨地実習ガイドブック（老年看護学実習）参照	
授業外学習	
実習ガイドブックに明記しているように、実習に向け事前課題に取り組むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト：老年看護学（医学書院） 生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能 関連図（医学書院） ・参考書：老年看護 病態・疾病論（医学書院） 	基礎看護学、成人看護学、老年看護学 ・ 、老年看護学実習 、総合看護実習 ・

課題に対するフィードバック

提出した事前課題については、実習前に返却します。

備考

科目名	精神看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	4年	前期
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要
 精神の健康に障害をもつ対象を、身体的・精神的・社会的側面から理解するとともに、対象への日常生活または治療的援助の方法や社会復帰に向けての働きかけについて、実践を通して修得する。
 実習は、精神科病院および社会復帰施設で行う（2週間）。

（佐藤、柿並は看護師としての実務経験をもとに授業を行う。）

到達目標 B4402a 精神障害者とかかわることができる 精神科の治療やケアを説明できる 院内で行われている様々な活動に参加し、患者と関わりを持つことにより、精神障害を体験的に理解できる 病棟に入院中の患者や病院・施設の利用者とのコミュニケーションを通じて、自己の対人関係を振り返る	成績評価方法 実習記録、実習態度を総合判断する （別途要項に示す）
--	---

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：看護学臨地実習ガイドブック（精神看護学実習）参照	実習
授業外学習	
事前学習課題を必ず行って臨むこと 既習科目はすべて復習して臨むこと 記録は、日々行うこと 学習時間は毎日180分程度を目安とする	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論精神保健 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社 実習要項（精神看護学実習、共通）	精神看護学、 看護学すべて

課題に対するフィードバック

実習を通じて適宜コメントする。一部の記録はコメントを入れて返却する。

備考

オリエンテーションはすべて出席すること。

科目名	総合ゼミナール						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	4年	後期			
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子、山崎 千鶴 代、木元 卓也、三輪 直之		関連する資格	保健師国家試験受験資格 看護師国家試験受験資格			
授業概要 保健・医療・福祉の現場において看護活動を実践するにあたっては、他職種との連携・協働が求められる。総合ゼミナールにおいては、本学で養成する看護職、福祉職、心理職等を学ぶ学生が各部門に共通する問題を抱えた事例についてカンファレンスを行い、各自の立場から検証するとともに、他職種との連携を体験し、その必要性を学ぶ。また、多職種間のコミュニケーション技術を身につけ、実践に強い看護職を目指す。 (佐藤、柿並は看護師、山崎は保健師、木元は公認心理師、三輪は社会福祉士としての実務経験をもとに授業を行う)							
到達目標 B4501 ・保健・医療・福祉の連携を説明できる ・多職種間でのコミュニケーションの重要性を体験する ・多職種間での連携の方法を述べるができる ・他の医療・福祉職の役割と立場を尊重した行動ができる ・他の医療・福祉職と協働できる ・多職種の協働における自分の役割を理解し、それに応じた言動ができる			成績評価方法 レポート、ゼミナール参加状況、グループワーク				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション				○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保健・医療・福祉の現場における看護活動（佐藤） 【予習】既習科目の復習を行う（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り（60分）	
2) 看護師の立場から見た他職種との連携（柿並） 【予習】既習科目の復習を行う（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り（60分）	
3) 保健師の立場から見た他職種との連携（山崎） 【予習】既習科目の復習を行う（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り（60分）	
4) 福祉/心理の立場から見た他職種との連携（木元・三輪） 【予習】既習科目の復習を行う（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り（60分）	
5) 事例に基づく合同カンファレンス（佐藤、柿並） 【予習】カンファレンスの準備を行う（30分） 【復習】発表、レポートの準備（60分）	グループワーク
6) 事例に基づく合同カンファレンス（佐藤、柿並） 【予習】カンファレンスの準備を行う（30分） 【復習】発表、レポートの準備（60分）	グループワーク
7) 事例に基づく合同カンファレンス（佐藤、柿並） 【予習】カンファレンスの準備を行う（30分） 【復習】発表、レポートの準備（60分）	グループワーク
8) 保健・医療・福祉の役割と課題（発表・まとめ）（佐藤、柿並） 【予習】発表の準備を行う（30分） 【復習】レポートの作成（60分）	グループワーク
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
グループワークに必要な情報、知識は各自で集めてグループワークに臨むこと 総合的な知識を用いての演習のため、既習科目の復習を十分に行っておく	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付	既習科目すべて

課題に対するフィードバック

講義中にコメントするとともにグループワークを通じて全体にシェアする

備考

科目名	看護管理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	3年	前期
担当者名	原田 博子	関連する資格	看護師 保健師 養護教諭	

授業概要

授業は、対面で行います。

- ・質の高い看護サービスを提供するために、看護管理は患者・看護師の一つ一つの「ケア」を組織的な看護サービスとしてマネジメントすることの必要性を説明できる。
- ・看護専門職としての責務の観点から、看護の組織に属するメンバー一人一人が看護管理の知識を持ち、あらゆる場でそれらの知識を活用するために、看護管理が必要であることを述べる。
- ・根拠を踏まえた看護業務を行うために、看護を取り巻く諸制度や看護の国際協力にはどのような組織、仕組みが関わっているか記述できる。

授業するうえでの実務経験：臨床でのトップマネージャー・認定看護管理者としての実務経験をもとに、看護管理について授業を行う

到達目標

B3413

- 1看護管理の定義を述べる
- 2看護の目的を達成するための組織運営について述べる
- 3看護を取り巻く諸制度について説明する
- 4マネジメントに必要な知識と技術を列挙する
- 5看護管理の視点からその取り組みを工夫する
- 6病院における看護管理の実際を分かち合う
- 7看護師として連携・調整・協働の視点で他職種に配慮する

成績評価方法

小テスト、課題レポート、グループワーク、定期試験

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) シラバスの説明、第1章看護とマネジメント 【予習】第1章を読んでくる【復習】マネジメントの変遷レポート課題45分	管理という言葉のイメージについて話し合い、発表。
2) 第2章A B看護ケアのマネジメント 【予習】2章のA Bを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	まとめのノート作成方法
3) 第2章C 看護ケアのマネジメント 安全管理 【予習】2章Cをよんでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	ナイチンゲール小管理資料レポート説明
4) 第2章D 看護ケアのマネジメント チーム医療 【予習】2章Dを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
5) 第2章E 看護ケアのマネジメント 看護業務の実践 【予習】2章Eを読んでくる【復習】1 - 5回のまとめのテスト準備45分	小テスト
6) 第5章 A Bマネジメントに必要な知識と技術 Cリーダーシップ 1 - 5回のまとめの小テスト 【予習】第5章 A B Cを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	小テスト
7) 第4章看護サービスのマネジメント A B 【予習】第4章 A Bを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
8) 第4章看護サービスの提供の仕組み 【予習】第4章Cを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
9) 第4章D 人材のマネジメント 第3章 看護職のキャリアマネジメント 【予習】第3・4章を読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
10) 第4章 労働環境 6 - 10回まとめの小テスト 【予習】第4章を読んでくる【復習】小テストの振り返り45分	はたさぼを見て話し合おう 小テスト
11) 第4章 EFG 施設・設備環境のマネジメント、物品のマネジメント 情報のマネジメント 【予習】第4章E F Gを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	自分が受けた質の良い看護とはなにか、カード作り宿題
12) 第4章 H I 組織のリスクマネジメント サービスの評価 【予習】第4章H Iを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
13) 第5章D組織の調整 【予習】第5章Dを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
14) 第6章 看護を取り巻く諸制度 【予習】第6章A Bを読んでくる【復習】11回から14回までのまとめ45分	ナイチンゲールレポート 提出
15) 第6章 C D 看護を取り巻く諸制度 看護の専門性 医療制度 【予習】第6章を読んでくる【復習】全体のまとめノートの確認45分	自分たちの受けた質の良い看護について話し合い（KJ法）発表
授業外学習	
<p>授業前後には、必ず予習45分と復習レポート課題45分をして出席するようにしてください。 この授業は、4年生の統合実習につながる教科目です。 遅刻・早退・中抜け15分以上は欠席とします。欠席が3分の2以上ある場合は、未履修となります。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト・系統看護学講座 看護管理 医学書院 参考書・基礎看護学 看護管理 メディカ出版・ナイチンゲールの覚書</p>	<p>看護学概論、医療経済論、医療安全管理学、看護情報論、統合看護実習</p>

課題に対するフィードバック

のテストは授業内で回答をもって説明します。
と のテスト結果は、採点后返却します。
14 回目のレポートは、最終日にコメントをつけて返します。

備考

科目名	看護教育学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	4年	前期
担当者名	佐藤 美幸	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

看護教育制度と看護教育方法の現状と課題を理解し、看護学への関心を深め、質の高い看護のための学ぶ姿勢を身につける。本講義は遠隔授業で行う。

(佐藤は看護師として、大学教員としての実務経験をもとに授業を行う。)

到達目標

B4403

看護学の歴史と教育制度の変遷を理解する
 看護教育制度の現状を理解し、課題について述べることができる
 看護専門職者としての継続教育と必要性が説明できる
 質の高い看護実践のために必要な看護教育について自らの考えを述べる
 ことができる

成績評価方法

授業内の課題 (50%)
 最終レポート (50%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護教育とは 【予習】シラバスを確認する。学生ハンドブックを読んてくる（15分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
2) 看護教育の歴史と教育制度の変遷 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
3) 看護教育制度 1 看護基礎教育（看護師、保健師、助産師の教育システム） 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
4) 看護教育制度 2 看護基礎教育（大学における教育） 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
5) 看護教育制度 3 継続教育 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
6) 看護教育制度 4 卒後教育 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
7) 看護教育の実際 1 看護学科の教育課程を見よう 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	事前課題・GW
8) 看護教育の実際 1 自分の希望する病院の卒後教育を見よう 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	事前課題・GW
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
事前に配布された資料は、授業前に必ず目を通しておく。その日の授業は必ず資料に目を通して、復習をする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付	既習科目すべて

課題に対するフィードバック

授業時間内でコメントする
GWにおいては、GW内でシェアする

備考

科目名	看護情報論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	稲垣 順子	関連する資格	看護師	

授業概要

情報倫理と法・守秘義務を理解し、情報リテラシーを修得する。また、情報システムやIoT、人工知能の活用と看護について考察する。

看護師としての実務経験を持つ稲垣順子が授業を行う。

到達目標

【B3414】

1. 看護情報とは何かについて説明できる。
2. 情報リテラシーを身に着けることができる。
3. 情報倫理と法について説明できる。
4. 医療情報システムについて説明できる。
5. IoT、人工知能の活用と看護について考察できる。

成績評価方法

- ・小テストを実施します。
- ・受講時間が全授業時間数の3分の2以上あることが評価の対象です。
- ・リアクションペーパーの提出がない場合減点します。
- ・課題や小テスト・ノートの内容を評価します。
- ・定期試験を実施します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							12
宿題、授業外レポート							4・4
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護情報とは何か（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
2) コンピュータリテラシーと情報リテラシー（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
3) 情報倫理と法（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
4) 医療情報システム（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
5) 看護記録と看護用語の標準化（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
6) 看護における情報システムの活用例（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
7) 事例検討（担当：稲垣） 予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	【グループワーク
8) 看護情報の取り扱いと今後の課題（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	プレゼンテーション
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習を十分に行ってください。予習範囲は事前に連絡します。予習・復習時は、特に復習時はノートを作成してください。テキスト/授業の内容を整理することを習慣にしてください。 ・課題、ノート提出があります。授業外で作成をしてください。 ・予習として、教科書の該当する箇所を読んでください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
エッセンシャル看護情報学 2023 医歯薬出版株式会社	医療安全 成人看護学実習 ・ 総合看護実習 ・

課題に対するフィードバック

- ・課題、ノートの内容に適時コメントします。
- ・出欠票・リアクションペーパーに記載された質問などには、授業中にフィードバックします。

備考

- ・初回授業のガイダンスに必ず出席してください。
- ・授業開始後、遅刻・早退・中途退室は時間を記載し記録に残します。その時間数を教員計算し全授業時間数の3分の2以上満たしているか確認します。
- ・試験の受験資格は全授業時間数の3分の2以上とします。受講時間数を教員から言うことはありません。各自で確認してください。

- ・授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	身体コミュニケーション論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	佐藤 美幸、和氣 さち、弘中 陽子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

コミュニケーションの重要性をふまえて、様々な看護場面において対象に応じた方法を用いて対象者と接することができるよう、知識と技術を実践的に学ぶ。具体的には、コミュニケーションスキル、レクリエーション、アロマセラピー、タッチングなどの技術を通して、それらを実践に活用するための基礎的能力を養う。
本講義は、遠隔および対面授業を行う。

(佐藤、和氣は看護師としての実務経験をもとに、授業を行う。)

到達目標

B3415

1. 医療現場におけるコミュニケーションの重要性について理解できる
2. 様々なコミュニケーション技法について知ることができる
3. 音楽療法、レクリエーション、アロマセラピーの看護への応用の方法が理解できる
4. 対象に応じたレクリエーションの企画・運営ができる
5. コミュニケーションの技術を用いて対象との良好な関係を持つことができる

成績評価方法

最終課題レポート、授業内レポート、グループワーク、演習等にて評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○				70
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション		○	○	○	○		5
グループワーク	○	○	○		○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 医療の現場におけるコミュニケーション1 コミュニケーションとは（佐藤） 【予習】シラバスを確認する（15分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	演習
2) 医療の現場におけるコミュニケーション2 コミュニケーションのズレ（佐藤） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	演習
3) 医療の現場におけるコミュニケーション3 多様性を理解する（佐藤） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	グループワーク
4) アロマセラピーの看護への活用1（和氣） 【予習】アロマセラピーについて調べておく（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	アロマセラピーを体験する(演習)
5) アロマセラピーの看護への活用2（和氣） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	ハンドマッサージを体験する（演習）
6) 身体を使ったコミュニケーションスキル（レクリエーション）（弘中） 【予習】レクリエーションについて調べておく（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	レクリエーションの体験をする（演習）
7) レクリエーションを考えてみよう1 （佐藤） 【予習】グループワークのための材料を集める（60分） 【復習】グループで考えたレクリエーションが行えるよう準備する（30分）	グループワーク
8) レクリエーションを考えてみよう2 （佐藤） 【予習】グループワークの発表のための準備を行う（60分） 【復習】実際に行ったレクリエーションについて、振り返る（30分）	グループワーク、レクリエーションに参加する
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>時間外での学習は主に復習を中心に行って下さい。 連続している授業は、授業前に前回の資料に目を通して復習しておいて下さい。。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付	看護学概論 コミュニケーション論 精神看護学、精神看護学 保健師関連科目

課題に対するフィードバック

授業内でコメントする。
グループワークでシェアを行う。

備考

演習・グループワークが多い科目です。自ら学ぶ姿勢で臨んで下さい。
コミュニケーション演習では、学生にペアになって様々な話をしてもらいます。
演習で知り得たことは他者に話したりしないで下さい。

科目名	在宅看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	清水 佑子	関連する資格		

授業概要

在宅看護論の概論として、在宅看護論 および在宅看護論実習の基礎となる理念や問題を学習する。ここでは、在宅看護を支える法律やシステム・理論を理解し、それらを使用して看護師として在宅で暮らす療養者とその家族を支援していく方法を理解する。疾病や障害、虚弱のために看護ニーズをもつ在宅療養者とその家族の特徴について理解し、療養者や家族を支える方法を学習するとともに、社会情勢の変化に即した在宅看護のあり方について学習する。
清水佑子は、介護老人保健施設の実務経験をもとに、在宅ケアを支える法制度と社会資源：介護保険、他職種との連携とケアマネジメントについて授業を行う。

到達目標

B3501

1. 在宅看護の歴史、背景、目的、対象について述べることができる。
2. 在宅看護における活動の場の特徴について述べるができる。
3. 在宅療養を支える他職種や他機関の連携、ケアマネジメントの必要性について述べるができる。
4. 在宅療養を支える制度、ケアシステム、社会資源および保健・医療・福祉専門職の役割について述べるができる。
5. 在宅看護の課題と展望について自己の意見を述べ、グループで協力して発表できる。

成績評価方法

期末定期試験
小テスト
授業内レポート
授業態度・授業参加度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 在宅看護の概念（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
2) 在宅看護の倫理と基本理念（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
3) 在宅療養者と家族の支援（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	小テスト 出席カード
4) 訪問看護の特徴、役割と機能（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
5) 在宅ケアを支える訪問看護ステーション（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
6) 訪問看護の実際（学外講師）【復習】講義の内容を振り返り、整理する。30分	出席カード
7) 在宅ケアを支える法制度と社会資源：介護保険（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
8) 地域包括ケアシステムと在宅ケア（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
9) 他職種との連携とケアマネジメント（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
10) 在宅ケアシステムの実際（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
11) 病院と家庭をつなぐ退院支援（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
12) 高齢者を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
13) 要介護高齢者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
14) 障害者の在宅療養を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
15) 障害者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
16) 在宅難病療養者を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
17) 難病療養者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
18) 子どもの在宅療養を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
19) 子どもに対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
20) 在宅看護の対象者の理解（学外講師）【予習】これまでの療養者に対する制度と看護を振り返っておく。30分【復習】講義の内容を振り返り、整理する。30分	出席カード

21)	在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
22)	認知症に対する在宅看護と高齢者虐待（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
23)	在宅療養における住宅改修・福祉機器の活用（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
24)	在宅リハビリテーション（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
25)	在宅ターミナルケア（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
26)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】在宅看護の課題と展望について調べてくる。30分【復習】テーマに沿って内容を調べる。30分	授業内レポート課題
27)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】テーマに沿って内容を調べてくる。30分	小テスト グループワーク
28)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】テーマに沿って内容を調べてくる。30分	グループワーク
29)	在宅看護の課題と展望について（清水） 【予習】プレゼンテーションの準備を各グループで行う。30分	プレゼンテーション
30)	在宅看護の課題と展望について（清水） 【予習】プレゼンテーションの準備を各グループで行う。30分 講義のまとめ（清水）	プレゼンテーション

授業外学習

授業計画に沿って、教科書を熟読してきてください。
奇数回の授業開始時、小テスト（前回講義内容）があります。講義資料、教科書を復習してください。
在宅看護の展望と課題について個人で調べ、考えおよび意見をグループワークで発言できるようにしておいてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア 株式会社メディカ出版 <参考書> ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支える技術、メディカ出版	公衆衛生看護学概論，社会保障論，社会福祉論，看護学概論，看護理論，家族論・家族関係論，緩和ケア論，成人看護学総論，成人看護学・，小児看護学・，老年看護学・，精神看護学・

課題に対するフィードバック

小テストは採点后返却します。
プレゼンテーション後は、内容について講義中にコメントします。
出席カードに記載されていた質問についてや書かれていた内容に対しては、翌週の講義の際にコメントします。

備考

科目名	在宅看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	後期
担当者名	清水 佑子	関連する資格		

授業概要

在宅療養者とその家族に対する看護実践のために必要な生活ケアと医療的ケアについて、知識・技術を理解する。在宅看護論実習の基盤となる科目として、技術内容とその根拠を理解する。また在宅療養者を援助する方法をイメージできるように、事例を通して療養者と家族の問題をアセスメントし、問題を抽出し、問題解決のために必要と考えられる方法、社会資源を考える。清水佑子は、介護老人保健施設の実務経験をもとに、在宅における生活ケア、医療的ケアについて授業を行う。

到達目標

- B3502
- 療養者や家族と信頼関係を形成するための方法について述べるができる。
 - 在宅における生活ケアについて具体的に述べるができる。
 - 在宅における医療的ケアについて具体的に述べるができる。
 - 在宅におけるリスクマネジメントの必要性について理解できる。
 - 在宅看護過程を展開し、事例に応じた対象の問題や課題を明確にできる。

成績評価方法

- 小テスト
- 授業内レポート
- 授業・グループワークへの意欲・態度

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							5
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 在宅におけるコミュニケーション（清水）【予習】基礎・老年看護学で学んだコミュニケーションに関する資料を見る。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。ロールプレイングの準備。30分	出席カード
2) 初回訪問時の面接技術（清水）映像の視聴をふまえて、在宅へ訪問する際の留意点をまとめる。30分	ロールプレイ 出席カード
3) 在宅における生活ケアと医療的ケア/在宅における援助技術 食と栄養のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
4) 在宅における援助技術 排泄のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。30分	小テスト 出席カード
5) 在宅における援助技術 清潔 移動のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
6) 在宅における援助技術 呼吸のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
7) 在宅における援助技術 服薬管理（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
8) 在宅における援助技術 感染予防の援助（清水）【予習】基礎看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
9) 在宅における援助技術 良肢位の保持と褥瘡予防（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
10) 在宅看護過程の考え方（清水）【予習】基礎看護学で学んだ看護過程の方法の振り返り。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
11) 看護過程の展開(1)在宅看護過程の考え方（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク
12) 看護過程の展開(2)（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク
13) 看護過程の展開(3)（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク・グループワーク
14) 看護過程の展開(4)（清水）【予習】グループワークで発言できるよう準備する。30分【復習】グループワークで行った看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 グループワーク
15) 看護過程の展開(5)まとめ（清水）【予習】グループでプレゼンテーションの準備をする。30分【復習】プレゼンテーションをふまえて事例の療養の課題を明確にし、全授業の振り返りをする。30分	プレゼンテーション
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、テキストを熟読してきてください。 小テストがあります。講義資料、教科書を復習してください。 13)までにレポートを作成し、考えおよび意見をグループワークで発言できるようにしておいてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト> ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論 地域療養を支えるケア 株式会社メディカ出版 <参考書> ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支える技術、メディカ出版・正野逸子他編；在宅看護過程第2版、メヂカルフレンド社。</p>	<p>在宅看護論、看護過程論、基礎看護方法論、基礎看護方法論演習、成人看護学、老年看護学</p>

課題に対するフィードバック

小テストは、採点后返却します。
出席カードの内容については、翌週の講義の際にコメントします。
授業内レポート課題については、コメントを記載して返却します。

備考

科目名	緩和ケア論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	稲垣 順子、江口 恵里	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要

緩和ケアを必要とする患者・家族の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな全人的苦痛・苦悩を理解し、患者・家族のQOLの向上を促進するための具体的アプローチを修得する。
 看護師としての実務経験を持つ稲垣順子・江口恵理が授業を行う。

到達目標

- 【B3416】
1. 緩和ケアの定義と関連する概念が説明できる。
 2. 身体的苦痛をもたらす生活への影響及び、症状緩和のためのマネジメントが説明できる。
 3. 精神的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルな苦痛緩和のためのマネジメントが説明できる。
 4. 緩和ケアにおける倫理的課題が説明できる。
 5. エンドオブライフケアが説明できる。
 6. 緩和ケアの今後の展望が説明できる。

成績評価方法

- ・小テストを実施します。
- ・受講時間が全授業時間数の3分の2以上あることが評価の対象です。
- ・リアクションペーパーの提出がない場合減点します。
- ・課題や小テスト・ノートの内容を評価します。
- ・定期試験を実施します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							16
宿題、授業外レポート							10・14
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 緩和ケアとは（担当：稲垣） 【予習】教科書のp20～56、234～252を読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
2) 全人的ケアの実践 身体症状とその治療・看護（担当：稲垣） 【予習】教科書のp58～166を読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
3) 全人的ケアの実践 精神症状とその治療・看護、社会的ケア、スピリチュアルケア（担当：稲垣）【予習】教科書のp97～147を読んでくる（80分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
4) 認知症とともに生きる人と家族への緩和ケア（担当：江口）【予習】老年看護学 認知機能障害がある高齢者の看護、老年症候群を読んでくる（80分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
5) 地域・在宅緩和ケア・エンド・オブ・ライフケア・家族ケア（担当：稲垣） 【予習】教科書のp254～278、280～300を読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
6) 非がん疾患の緩和ケア（担当：稲垣） 【予習】教科書のp318～328を読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
7) 緩和ケアにおける倫理的課題（担当：稲垣） 【予習】教科書のp330～349を読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
8) 緩和ケアの今後の展望（担当：稲垣） 【予習】教科書のp15-17を読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習を十分に行ってください。予習範囲は事前に連絡します。予習・復習時は、特に復習時はノートを作成してください。テキスト/授業の内容を整理することを習慣にしてください。 ・課題、ノート提出があります。授業外で作成をしてください。 ・予習として、教科書の該当する箇所を読んできてください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
ナーシンググラフィカ 成人看護学 緩和ケア、MCメディカ出版	成人看護学・老年看護学・小児看護学・在宅看護論・基礎看護学

課題に対するフィードバック

- ・ 課題、ノートの内容に適時コメントします。

備考

- ・ 初回授業のガイダンスに必ず出席してください。
- ・ 授業開始後、遅刻・早退・中途退室は時間を記載し記録に残します。その時間数を教員計算し全授業時間数の3分の2以上満たしているか確認します。
- ・ 試験の受験資格は全授業時間数の3分の2以上とします。受講時間数を教員から言うことはありません。各自で確認してください。

- ・ 授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・ 授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	在宅看護論実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	4年	前期			
担当者名	清水 佑子		関連する資格				
授業概要 何らかの支援を必要とする人に向けた在宅ケアシステムの概要を学ぶとともに、在宅で療養している対象者とその家族に対して、生活を尊重しながら生活の質(QOL)向上の視点から看護援助が実践できる基礎的能力を養う。							
到達目標 B4502a 1. 在宅療養者とその家族について、生活状況をふまえた療養上の課題について説明できる。 2. 在宅療養者とその家族がもつ療養上の課題に対する訪問看護師の役割と、その活動について説明できる。 3. 保健・医療・福祉に携わる関連職種との連携・協働について理解できる。 4. 私生活の場に第三者が介入することの意味を考え、療養者および家族に配慮した行動がとれる。 5. 療養者が在宅で生活し続けるための在宅看護のあり方と在宅ケアシステムや社会資源について考察できる。			成績評価方法 提出物 実習記録 授業外レポート				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>2週間のうち訪問看護ステーション4日，地域連携室半日，居宅介護支援事業所半日，通所リハビリテーション1日の実習を行う。</p>	<p>知識確認テスト 関連図を基にした事例検討</p>
<p>授業外学習</p>	
<p>実習開始前に知識確認テストがあります。講義資料、テキストを復習してください。 実習事前準備として学習をし、積極的に実習に取り組んでください。 課題に沿ってレポートを作成し、実習の振り返りを行ってください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>看護学臨地実習ガイドブック在宅看護論実習2023年度</p>	<p>在宅看護論、在宅看護論</p>

課題に対するフィードバック

記録物に対しては必要時その場で指導を行います。

備考

科目名		総合看護実習					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	1	4年	前期			
担当者名	福岡 泰子、加藤 かすみ、清水子、金川 真理、金子 真弓、柿並子、磯村 由美、和氣 さち、江口里、梁元 陽子、宮本 心貴子	佑洋恵	関連する資格	看護師 保健師			
授業概要 これまでの病院や施設または行政での実習を通して見出した自らの課題を明確にした上で、主体的に実習をすすめ、さらに実践能力を高める。 看護業務に携わった経験を持つ教員（福岡・金子・清水・柿並・磯村・和氣・金川・江口・梁元・三隅・宮本）が引率、あるいは学内指導を担当し、指導を行う。							
到達目標 B4302a 1．これまでの臨地実習での自己の課題を明確にし、課題解決に向けて意図的・計画的に実習に臨むことができる。 2．患者のアセスメントを行い、ニーズを把握することができる。 3．患者のニーズを充足するための看護計画を立案できる。			成績評価方法 臨地実習100点、技術試験100点で評価する。各々60%以上の得点で単位を認定する。 臨地実習は、目標達成状況、実習記録、実習態度などを総合して評価する。				
評価項目		評価基準					
		知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○	○		○	○	50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習		○	○	○	○	○	50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
看護学臨地実習ガイドブック 総合看護実習 ・ 参照	技術試験前には実習室での自己練習時間を設ける。 試験後の振り返りでは学生同士でのグループ学習を行う。
授業外学習	
事前に技術試験を実施するため今まで学習した内容から本実習に必要な技術を復習し習熟しておくこと、実習内容については、別途オリエンテーションを設ける。 実習終了後記録のまとめを要する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
看護管理、医学書院	看護管理、各領域臨地実習、総合看護実習

課題に対するフィードバック

技術試験後には技術に対する講評を提示します。
実習記録に対して、コメント・評価をして返却します。

備考

科目名	総合看護実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	1	4年	後期			
担当者名	福岡 泰子、加藤 かすみ、清水子、金川 真理、金子 真弓、柿並子、磯村 由美、和氣 さち、江口里、梁元 陽子、宮本 心貴子	佑洋恵	関連する資格	看護師 保健師			
授業概要 総合看護実習 での学びをさらに深め、看護の対象（患者）を多角的・統合的に把握し、対象の健康上・看護上のニーズを充足させるための援助を展開する。1年次から学んだ看護の集大成として、看護技術や知識を再確認し、実践に応用できる能力を養うとともに自らの看護観をまとめる。 看護業務に携わった経験を持つ教員（福岡・金子・清水・柿並・磯村・和氣・金川・江口・梁元・宮本・三隅）らが引率し、あるいは学内演習を担当し、指導を行います。							
到達目標 B4303a 1．看護の対象（患者）を多角的・統合的に把握し看護計画を立案し、他者との共有ができる。 2．チームでの看護実践と医療安全への取り組みが理解できる。 3．看護職の役割や責任、倫理について考察し、自己の看護観をまとめる。			成績評価方法 臨地実習・学内演習について、実習目標の達成状況、レポート、実習態度を総合看護実習評価表に基づき評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				40
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習		○		○	○		60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
看護学臨地実習ガイドブック 総合看護実習 ・ 参照		実習後に今までの実習において実践から学んだ知識や技術が統合された知識として習得できているか試験を行う。
授業外学習		
<p>臨地実習に必要な学習を行うこと。 実習病棟により疾患の種類が大きく異なるため、同じグループの実習生であっても共有できる知識の範囲が限定される。そのため、主体的に疾患・看護の理解を深める姿勢が重要となる。</p>		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
看護管理 医学書院 医療安全 医学書院		各領域臨地実習 総合看護実習

課題に対するフィードバック

実習記録に対して、コメント・評価をして返却する。

備考

科目名	研究			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	3年	後期
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、磯村 由美	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要

看護における研究の意義、研究の倫理、ならびに研究方法論を習得する。これまでの学習を通して芽生えた問題意識を研究テーマへと発展させる。また課題の究明に求められる研究的な学習の進め方、研究に重要な科学的かつ論理的な思考方法を学ぶ。

(佐藤、磯村は看護師、安成は助産師および大学教員としての実務経験に基づいて授業を行う。)

到達目標

B3301

- 1) 看護における研究の意義、必要性を説明できる。
- 2) 研究を通して、科学的・論理的思考を習得する。
- 3) 研究の展開方法について説明できる。
- 4) 各研究方法論の概要について説明できる。
- 5) 研究論文のクリティークを行うことができる。
- 6) 研究計画書の書き方を習得する。
- 7) 研究における倫理的配慮の重要性について説明できる。

成績評価方法

試験およびレポート、グループワークなどを総合的に評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート			○				30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	全体オリエンテーション/研究とは（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
2)	看護研究のはじめ方 - リサーチクエストをたてる（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
3)	文献レビューとその方法（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	課題（文献レビュー）
4)	研究における倫理的配慮（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
5)	研究デザインとデータの収集1 研究デザインの選択、整理（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
6)	研究デザインとデータの収集2 質的研究（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
7)	研究デザインとデータの収集3 質的研究（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
8)	研究デザインとデータの収集4 量的研究（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
9)	研究デザインとデータの収集5 量的研究（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
10)	データ分析（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
11)	研究を伝える - 学会発表・論文作成（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
12)	研究計画書の作成（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
13)	文献検討（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	グループワーク 事前課題
14)	文献検討（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	グループワーク 事前課題
15)	まとめ（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（60分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（30分）	
授業外学習		
教科書の該当ページには必ず目を通してから授業に臨んで下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
坂下玲子ほか 系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院		既習科目すべて 研究

課題に対するフィードバック

授業内でコメントするとともに、グループワークを通じて他の学生と学習内容のシェアをおこなう。

備考

科目名	研究			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	2	4年	通年(前期)
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、稲垣 順子、 、新開 奏恵、福岡 泰子、金川 真理、 、金子 真弓、清水 佑子、立川 美香、 、柿並 洋子、磯村 由美、江口 恵里、 、梁元 陽子、宮本 心貴子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要

研究計画書の作成を通して、各自の課題に対しての問題解決を図る方法を身につけるとともに、科学的思考や論理的表現方法を習得する。その過程を通じて、倫理的配慮の必要性、研究フィールドを得るための方法など、研究に必要な知識を習得する。

教員別に分かれて個別指導を受ける。指導方法は担当の教員による。

(担当者はすべて看護師もしくは保健師、助産師、養護教諭の実務経験および大学教員としての経験をもとに授業を行う。)

到達目標

B4301

研究計画書を作成することができる。
 研究課題を明確にすることができる。
 研究目的を設定することができる。
 文献検索を行い、研究の背景を明確にすることができる。
 研究の意義を明らかにすることができる。
 研究方法を記述することができる。
 研究デザインを記述することができる。
 論理的・科学的思考を習得できる。
 看護上の問題解決能力を養うとともに、看護実践の根拠を考えることができる。
 研究における倫理的配慮について説明できる。
 看護における科学的根拠を示す方法としての研究の必要性および重要性を説明できる。

成績評価方法

研究計画書をもとに指導教員が評価する。評価には、指導の中での態度や経過を含む(100%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							100
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 研究 オリエンテーション 【予習】研究 で配布された研究授業概要を読んてくる（30分） 【復習】研究 の授業を振り返る（60分）	
2) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
3) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
4) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
5) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
6) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
7) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
8) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
9) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
10) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
11) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
12) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
13) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
14) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
15) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
授業外学習	
指導教員の指導に従って、授業前に指示された課題を行ってから授業に臨んで下さい。 研究 の内容はすべて復習しておいて下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座別巻 看護研究 医学書院（研究 で使用したもの） 研究授業概要（研究 で配布されたもの）	既習科目のすべて

課題に対するフィードバック

研究計画書の作成を課題とする。計画書は、自ら振り返る（自己評価表）とともに各教員が個別にコメントをする。

備考

科目名	研究			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	2	4年	通年(後期)
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、稲垣 順子、 新開 奏恵、福岡 泰子、金川 真理、 金子 真弓、清水 佑子、立川 美香、 柿並 洋子、磯村 由美、江口 恵里、 、梁元 陽子、宮本 心貴子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要 研究 前期と同じ

到達目標 B4301 研究 前期と同じ	成績評価方法 各教員による評価(研究計画書作成)
---------------------------	-----------------------------

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							100
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
2) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
3) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
4) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
5) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
6) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
7) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
8) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
9) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
10) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
11) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
12) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
13) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
14) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
15) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
授業外学習	
指導教員の指導に従って、授業前に指示された課題を行ってから授業に臨んで下さい。 研究 の内容はすべて復習しておいて下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
研究 で用いたもの、各自で集めた資料 担当教員から提示された資料	全ての科目

課題に対するフィードバック

前期と同じ。各教員によるフィードバックを行う。

備考

科目名	公衆衛生看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	4	3年	前期
担当者名	立川 美香、滝川 洋子、山崎 千鶴 代	関連する資格	保健師 看護師	

授業概要

- ・人びとが自らの健康状態を認識し、健康の保持増進を図ること（セルフケア力の向上）を支援するための保健指導方法の基本的考え方と実践方法について演習等を通して学ぶ。
- ・集団における教育方法の基本的考え方と実践方法についてグループワーク等を通して学ぶ。
- ・地域の人びとや医療、福祉などの他職種、機関との協働のあり方とその実践方法を学ぶ。

【実務経験】立川美香、山崎千鶴代は、保健師としての実務経験をもとに、公衆衛生看護学 の授業を行う。

到達目標

【B3503】

- ・地域住民に対する個別的指導方法を理解し、説明できる。
- ・対象別に必要な集団保健指導方法を理解し、説明できる。
- ・対象が必要とする健康教育を実践するためのプロセスを理解し、演習としてグループワークを経てプレゼンテーションができる。
- ・地域の人びと、関係者・機関との協働について理解し、説明できる。

成績評価方法

- 授業態度・授業参加度（10%）
- グループワーク・プレゼン（20%）
- 小テスト・レポート内容（10%）
- 定期試験結果（60%）
- 上記を基準として総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 地域で展開される公衆衛生看護活動の実際（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	レポート
2) 健康の概念とプライマリヘルス・ヘルスプロモーション（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
3) 保健指導（目的・対象・技術）（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
4) 健康相談の場面と面接技術・実践・評価・フォローアップ（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
5) 健康相談の場面と面接技術・実践・評価・フォローアップ（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
6) 健康診査の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
7) 家庭訪問の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
8) 家庭訪問における家族の捉え方とエコマップ（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	レポート
9) 家庭訪問 演習（立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
10) 家庭訪問 演習（立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
11) 家庭訪問 演習（立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
12) 家庭訪問 演習？（立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
13) 家庭訪問 演習（立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
14) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：エコマップ（立川・滝川洋子・山崎） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
15) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：場面（立川・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク プレゼンテーション
16) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：場面（立川・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク プレゼンテーション
17) 健康教育の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
18) 健康教育の理論と実践（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
19) 健康教育 演習（立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
20) 健康教育 演習（立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク

21)	健康教育 演習 (立川美香・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
22)	健康教育 演習 (立川美香・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
23)	健康教育 演習(中間)(立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
24)	健康教育 演習 (立川美香・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
25)	健康教育 演習 (立川美香・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
26)	健康教育 演習 (立川美香・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
27)	健康教育 プレゼンテーション (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
28)	健康教育 プレゼンテーション (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
29)	地域組織活動の展開(滝川洋子) 【予習】テキストを読む(30分) 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分)	
30)	セルフヘルプグループ活動とその支援(滝川洋子) 【予習】テキストを読む(30分) 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分)	

授業外学習

- ・保健師選択科目で使用するテキスト以外でも、必要に応じ他の科目のテキストを読むこと。
- ・図書館の本や雑誌、新聞、視聴覚教材など、テキスト以外のものを活用し予習・復習をすること。
- ・復習する際には、授業の内容に該当する保健師国家試験問題を解き、不明な所は授業中必ず質問をすること。

テキスト、参考書、教材

関連する科目

- ・「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会
- ・「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会
- ・「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会
- ・「公衆衛生看護学概論」第5版医学書院
- ・厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2022/2023

公衆衛生学、公衆衛生看護概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、憲法・人権論、地域社会学、生涯発達心理学、保健医療福祉行政論、家族論・家族関係論

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じコメントを記入したり授業の中で説明します。課題は前期終了までに返却しますので、公衆衛生看護学実習 に活用できるように整理をしておいてください。

備考

- 保健師ノートについて
- ・自己学習した内容を保健師ノートにファイルしてください。
 - ・このノートは4年生まで活用します。

授業の心得

- ・ 授業中や演習では積極的に発言・参加すること。
- ・ 授業中や演習では他者を尊重し協力し合うこと。

- ・ 授業の出席日数は各自で管理してください。
- ・ 授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
- ・ 授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とします。

科目名	公衆衛生看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	4	3年	前期
担当者名	山崎 千鶴代、立川 美香、滝川 洋子、新開 奏恵	関連する資格	保健師	

授業概要

- ・本授業は対面で実施する。
- ・ライフサイクル（母子・成人・高齢者）に応じた保健活動、健康問題（精神・感染症・難病・障害児者等）に対する保健活動、社会集団（学校・産業）を対象とした保健活動を法的根拠や政策をもとに、それぞれの対象への保健指導の基本や実践について講義、グループ学習（学生相互の学び合い）・プレゼンなどを通して理解する。
- 『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに、公衆衛生看護活動全般の授業を行う。新開奏恵は養護教諭実務経験をもとに学校保健の授業を行う。

到達目標

- 『B3504』
1. 対象別保健の動向・施策や制度を理解し説明できる。
 2. 対象別の健康課題と保健指導の内容を理解し説明できる。
 3. 産業保健の職域の特徴と対象者の健康課題を理解し説明できる。
 4. 産業保健における保健師の職務と役割を理解し説明できる。
 5. 学校保健の対象と健康課題を理解し説明できる。
 6. 学校保健における養護教諭の職務と役割を理解し説明できる。
 7. 住民の健康の保持増進の為に保健師の役割や職域との連携・協働が理解し説明できる。

成績評価方法

- ・授業態度・授業参加度
プレゼンテーション
グループワーク
演習、
定期試験結果
上記等を総合して評価する。
- ・2/3以上の出席がないと、定期試験受験資格が与えられない。
- ・遅刻3回で1回欠席とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							10
グループワーク							5
演習							5
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 母子保健活動；母子保健指導の動向 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
2) 母子保健活動；母性各期の健康課題と保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
3) 母子保健活動；乳幼児期の成長発達と保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
4) 母子保健活動；ハイリスクの母子への保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
5) 成人保健活動；成人保健の動向 「予習」テキスト第2章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
6) 成人保健活動；成人期の保健活動・保健指導 「予習」テキスト第2章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
7) 高齢者保健活動；高齢者保健の動向 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
8) 高齢者保健活動；高齢者の生活と保健指導 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
9) 高齢者保健活動；在宅要援護高齢者と家族への保健指導 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
10) 精神保健活動；精神保健の動向 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
11) 精神保健活動；精神障害者の生活上の障害と保健指導 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	グループワーク
12) 精神保健活動；社会病理を背景とする主な疾患 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
13) 障害者（児）保健活動；障害者保健の動向 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
14) 障害者（児）保健活動；障害者保健施策と保健活動 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	グループワーク
15) 難病保健活動；難病対策の動向 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
16) 難病保健活動；難難病患者の生活と保健指導 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	グループワーク
17) 感染症保健活動；感染症保健の動向 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
18) 感染症保健活動；感染症保健施策と保健活動 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
19) 感染症保健活動；疾病管理 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
20) 感染症保健活動；感染症集団発生 「予習」テキスト第12章Bを読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	グループワーク

21)	歯科保健活動；歯科保健の動向と保健活動の実際 「予習」テキスト第8章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	グループワーク
22)	産業保健活動；産業保健の動向 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
23)	産業保健活動；産業保健の制度とシステム 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
24)	産業保健活動；産業保健における健康課題 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	グループワーク
25)	産業保健活動；産業保健の展開 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分）立川美香 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	グループワーク
26)	学校保健活動；学校保健の動向 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	グループワーク
27)	学校保健活動；学校保健の制度とシステム 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	グループワーク
28)	学校保健活動；学校保健・看護の現状と健康課題 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	グループワーク
29)	学校保健活動；養護教諭の職務と保健室の機能 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	グループワーク
30)	総括 滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代・新開奏声	レポート

授業外学習

- ・事業計画に沿って、テキストの該当単元を予習し、授業終了後復習しておくこと。
- ・第2回にプレゼンテーションの課題をいくつか提示、その中から自ら選択し、レポート作成すること。レポートに沿って、授業開始時発表、その後発表内容についてグループ討議を行う。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
対象別公衆衛生看護活動 医学書院 衛生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2023/2024	保健医療福祉行政論、疫学保健統計、公衆衛生学、社会保障論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、栄養と運動

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じ説明する。
課題レポートは最終的に返却する。

備考

授業中の携帯電話等の使用は教員の指示がない限り使用禁止する。

担当講師の都合により、授業計画の順番が変更することがあるが、その際は前もって知らせる。

科目名	公衆衛生看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	山崎 千鶴代、立川 美香、滝川 洋子	関連する資格	保健師	

授業概要

- ・本授業は対面で実施する
- ・地域に顕在あるいは潜在している健康問題の把握方法、地域看護診断に基づく活動計画と評価、さらに住民ニーズの施策化など、組織的に解決する方法について理解する。
- ・地域の人々が自ら健康問題を意識し、主体的に問題解決ができるようにするための方法や地域ケアシステムづくりについて理解する。
- ・公衆衛生看護管理活動及び地域の健康危機に対する活動について理解する。
- ・学習手段として、グループワークや学生間での意見交換等を積極的に導入する。

『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験のもとに、公衆衛生看護活動全般及び看護診断について授業を行う。

到達目標

『B3505』

1. 地域看護診断の方法を理解し、地域の健康課題をアセスメントできる。
2. 看護活動の計画・実践・評価について理解し説明できる。
3. 事業計画の策定、進行管理、評価の方法を理解し説明できる。
4. 公衆衛生看護管理の目的およびその機能を理解し説明できる。
5. 健康危機管理・リスクマネジメントについて理解し説明できる。

成績評価方法

- ・授業態度・授業参加度
グループワーク・プレゼンテーション
レポート、定期試験
上記を基準として総合的に評価する。
- ・2/3以上の出席がないと、定期試験受験資格が与えられない。
- ・遅刻3回で1回欠席とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							15
グループワーク							15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 公衆衛生看護活動とは 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
2) 地区活動の基本と対象のとりえ方 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
3) 公衆衛生看護学での看護過程の使い方 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
4) 地域看護診断の概念と理論 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
5) 地域看護診断の考え方、地域のとりえ方 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
6) 地区活動の展開 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
7) 地域看護診断 演習の進め方 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
8) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
9) 地域看護診断 演習 立川美香 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	グループワーク
10) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
11) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
12) 地域看護診断 演習中間プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	プレゼンテーション
13) ヘルスケアシステムの概要 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
14) 保健計画と実践（福祉施策を含む） 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
15) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること(30分) 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
16) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
17) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
18) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
19) 地域看護診断 演習プレゼンテーション準備 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	グループワーク
20) 地域看護診断 演習プレゼンテーション準備 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	グループワーク

21)	地域看護診断 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
22)	地域看護診断 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
23)	公衆衛生看護管理の概念・目的・機能 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
24)	公衆衛生看護管理 業務管理と情報管理 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
25)	地区視診 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
26)	地区視診 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
27)	地域看護診断・地区視診のまとめ 山崎千鶴代 「予習」地域看護診断・地区視診の演習の振り返り(30分) 「復習」地域看護診断・地区視診について内容確認(60分)	グループワーク
28)	地域看護診断・地区視診のまとめ 山崎千鶴代 「予習」地域看護診断・地区視診の演習の振り返り(30分) 「復習」地域看護診断・地区視診についてレポート提出(60分)	グループワーク
29)	公衆衛生看護管理 予算管理・人材管理・人材育成 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
30)	公衆衛生看護管理 健康危機管理 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	

授業外学習

- ・授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読すること。また、授業後はテキスト該当単元を復習すること。
- ・グループワークおよびプレゼンテーションに必要な知識の強化を図ること。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保健師業務要覧」第4版日本看護出版会 「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 「公衆衛生看護学概論」第5版医学書院 衛生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2023/2024	公衆衛生学、疫学、保健統計、保健福祉行政論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、データの科学的な見方

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じてコメントしたり、授業で説明する。課題は後期終了までに返却する。

備考

授業の心得

- 授業中や演習では積極的に発言・参加すること。
- 授業中や演習では他者を尊重し協力し合うこと。
- 授業中の携帯電話の使用は、教員の指示がない限り使用しないこと。

授業日程や担当講師の都合により、授業計画の順番を変更することがあるが、その際は事前に知らせる。

科目名	公衆衛生看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	3年	後期
担当者名	立川 美香、山崎 千鶴代	関連する資格	保健師 看護師	

授業概要

- ・公衆衛生看護学実習 では、市町村保健センターを中心に実習を展開する。
- ・既習及び学習中の公衆衛生看護学の知識・技術・態度を統合し、地域における看護の実際を体験する。
- ・保健活動を通して行政における看護活動に方法を理解する。

【実務経験】
立川美香、山崎千鶴代は保健師としての実務経験のもとに、公衆衛生看護学実習 の授業を行う。

到達目標 【B3506a】	成績評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・地域保健法に基づいた市町村の役割を理解する。 ・対象者の健康と生活を多角的にアセスメントし、顕在的・潜在的健康課題を明らかにする。また健康課題解決の為の展開方法を思案する。 ・対象者が自尊心、自己効力感、意欲を持ち、持てる力を発揮する支援を理解する。 ・公衆衛生看護技術を通して、地域の社会的、文化的特性を踏まえて、地域の看護診断必要性や活用方法を理解する。 ・必要な社会資源の理解と利用、関係者・関係機関との連携のあり方を理解する。また、地域保健医療チームの一員としての看護職の役割と機能を理解する。 ・実習に関わる多職種や地域で生活する人々の意見を聴き、そのことに対して専門職としての自分の考えを述べるができる。 	<p>宿題、授業外レポート：事前学習への取り組み 小テスト、授業内レポート：実習後のレポート 授業態度・授業参加度：実習前後を含めての積極的な態度 プレゼンテーション：実習前後を含めて、自己を表現する態度 グループワーク：グループへの参加の態度 実習：実習前後を含めての積極的な態度</p> <p>上記を基準として総合的に評価する。</p>

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		10
宿題、授業外レポート	○			○	○		10
授業態度・授業参加度				○			50
プレゼンテーション							10
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護学実習 ガイドブック参照	実習前後を含めて、グループ全体で協力し合って実習に臨む。その際には、グループでディスカッションをし、自身の課題とグループの課題を抽出し、修正点や不十分な点を明らかにする。課題に対する解決方法を計画し、積極的に実施する。実施した内容については、グループ間で評価しあう。
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要な知識をテキスト等で予習してきてください。 ・実習先の市の概要について事前に調べてください。 ・授業後は実習で学んだ事をテキスト等で復習してください。 ・グループワークに必要な知識の強化と資料収集をしてください。 ・グループワークの時間内に円滑な学習経過が辿れない場合は、次回のグループワークまでに遅延を取り戻してください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会 ・「公衆衛生看護学概論」第5版医学書院 ・厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2022/2023 ・実習要領（公衆衛生看護学実習、共通） 	公衆衛生学、公衆衛生看護概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、憲法・人権論、地域社会学、生涯発達心理学、人間関係論、保健医療福祉行政論、家族論・家族関係論

課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

実習オリエンテーション時に配布する、「看護学臨地実習ガイドブック」および「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み内容を理解し、遵守してください。

科目名	公衆衛生看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	3	4年	前期
担当者名	立川 美香、山崎 千鶴代	関連する資格	看護師 保健師	

授業概要

- ・地域住民全体の健康の保持増進を目的とした、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を理解し、看護専門職として保健サービスを提供できる基礎的能力を育成する。
- ・市保健センターにおいて、地域の健康課題およびヘルスニーズ、活動の方法、地域ケアシステムの概要を学ぶ。
- ・地域の健康問題の社会的諸条件についての理解を深め、地域における健康に関連する問題を組織的に解決する公衆衛生看護の活動方法を習得する。
- ・常に意見交換を実施し、グループダイナミックスを最大限活用する。

『実務経験』立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに実習指導を行う。

到達目標 『B4503a』	成績評価方法
<ol style="list-style-type: none"> 1. 市における保健・医療・福祉のシステムを学び、保健師の役割と活動内容を理解し説明できる。 2. 市における健康に関する情報を収集し、地域の健康問題を解決する方法やその過程を理解し説明できる。 3. 直接的な支援（訪問指導、健康教育等）を学習し実践できる。 4. 保健師としての態度を身につける。 	実習態度・実習参加度 実習前学習への取組状況 （地域診断・家庭訪問計画・健康教育実践準備等） グループワークへの参加態度 実習記録等の記録物 実習終了後の自己評価 等で総合評価をする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護学実習 ガイドブック参照	ディスカッション グループワーク プレゼンテーション 健康教育の実践 家庭訪問に実践 健康相談の実践 健康診査の実践等
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域での健康教育実践のための事前準備はグループで協力して行う。 ・家庭訪問実習は前もって情報収集し訪問計画を立てる。 ・実習先の地域診断は実習前からグループで取り組み、実習終了するまでに完成させる。 ・実習予定の事業については前もって事業内容・法的根拠等について学習する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会 ・「公衆衛生看護学概論」第5版医学書院 ・厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2022/2023 ・実習要領（公衆衛生看護学実習 〃、共通） 	公衆衛生学、疫学・保健統計、保健福祉行政論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、データの科学的な見方、公衆衛生看護学実習

課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック」及び「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み理解し、遵守すること。

科目名		公衆衛生看護学実習					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	4年	前期			
担当者名	立川 美香、山崎 千鶴代		関連する資格	保健師			
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民全体の健康の保持増進を目的とした、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を理解し、看護専門職として保健サービスを提供できる基礎的能力を育成する。 ・ 保健所の活動の方法、地域ケアシステムの概要を学ぶ。更に、健康問題の社会的諸条件についての理解を深め、地域における健康に関連する問題を組織的に解決する公衆衛生看護の活動方法を理解する。 ・ 保健所における健康危機管理の現状と保健師の活動と役割について学ぶ。 ・ 常に意見交換を実施し、グループダイナミックスを最大限活用する。 <p>『実務経験』立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに実習指導を行う。</p>							
到達目標 『B4504a』 <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健所の機能及び役割を理解し説明できる。 2. 保健所保健師の役割と、保健所で働く他職種の活動内容を理解し説明できる。 3. 保健所管轄地域の健康に関する情報を収集し、地域の健康問題を解決する方法やその過程を理解し説明できる。 4. 地域の健康問題に対して、保健所で実施している対人サービスを理解し説明できる。 5. 保健師としての態度を身につける。 			成績評価方法 実習態度・実習参加度 実習前学習への態取組状況（地域診断・家庭訪問計画等） 実習記録等記録物 実習終了後の自己評価 グループワークへの参加態度 等で総合評価をする。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							15
演習							
実習							70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護実習 ガイドブック参照	ディスカッション グループワーク 家庭訪問の実践 健康相談に実践 健康診査の実践等
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習先の地域診断は実習前からグループで取り組む。 ・実習予定の事業については前もって事業内容・法的根拠等について学習する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会 ・「公衆衛生看護学概論」第5版医学書院 ・厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2022/2023 ・実習要領（公衆衛生看護学実習 〃、共通） 	公衆衛生学、疫学・保健統計、保健福祉行政論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、データの科学的な見方、公衆衛生看護学実習、公衆衛生看護学実習

課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック」及び「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み理解し、遵守すること。

科目名	養護実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講・演	自由	1	3年	前期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で行う。
 養護実習の目的、意義の理解を深めるとともに、実習に必要な知識、技術を習得する。
 また、子どもの健康問題について考え、そこから課題を明らかにし、課題解決に向けてどのように取り組むか、学校現場の取組から学ぶと共に、授業づくりの実践力を身につける。
 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、養護実習指導を行う。
 佐伯里英子は、養護教諭の実務経験をもとに、養護実習指導を行う。

到達目標

- D3401
 1. 養護実習の目的や意義を理解し、実習に必要な技術を習得する。
 2. 実習目標、実習計画を立案する。
 3. 演習や模擬授業を通して、相互に学び合うことができる。

成績評価方法

- 小テスト・レポート(30%)
 授業態度(20%)
 プレゼンテーション(20%)
 グループワーク(10%)
 演習(20%)

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート	10	10					20
宿題、授業外レポート		10					10
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			5		5		10
演習		10		10			20
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 養護実習の目的・意義(新開奏恵) 【予習】実習生調査書の下書きをしておく。(60分) 【復習】実習のガイドブックを読む。(30分)	グループワーク
2) 保健室における養護教諭の執務(新開奏恵) 【予習】実習調査書の下書きをする。(30分) 【復習】実習のガイドブックを読み必要物品を準備する。(30分)	グループワーク
3) 保健室における養護教諭の執務(新開奏恵) 【予習】実習調査書の清書をする。(30分) 【復習】実習のガイドブックを読み実習における課題を明確にする。(30分)	グループワーク
4) 外科的な救急処置(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)	演習
5) 内科的な救急処置(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)	演習
6) 緊急性の高い救急処置(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)	演習
7) 健康診断(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行う。(30分)	演習
8) 保健教育(新開奏恵) 【予習】養護概論で作成した保健指導の修正をしておく。(30分) 【復習】指導の流れを覚える。(30分)	指導案作成
9) 環境衛生検査(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行う。(30分)	演習
10) 実習記録(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行う。(30分)	グループワーク 小テスト
11) 保健教育(新開奏恵) 【予習】9月に配布するほけんだよりの資料を準備しておく。(30分) 【復習】ほけんだよりを完成する。(30分)	プレゼンテーション
12) 保健教育(佐伯里英子) 【予習】模擬授業の練習をしておく。(30分) 【復習】他者評価を参考に指導案や教材を改善する。(30分)	プレゼンテーション
13) 統計処理(新開奏恵) 【予習】実習校との連絡調整についてガイドブックを読んでおく。(30分) 【復習】法令に関する小テストの学習をする。(30分)	演習
14) 保健室経営(新開奏恵) 【予習】法令に関する小テストの学習をしておく。(30分) 【復習】授業に関する疑問点を整理する。(30分)	グループワーク
15) 実習の振り返り(新開奏恵) 【予習】実習日誌や資料を整理しておく。(30分) 【復習】他の学生の発表を聞いて学んだ内容をまとめる。(30分)	プレゼンテーション
授業外学習	
予習として養護概論で学んだ養護教諭の執務内容を確認する。 復習として演習を振り返り、養護実習で正確に実践できるように練習する。指導案や教材を作成する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト: 本学作成「実習のガイドブック」 「養護実習の学び2021」報告集 参考書: 第一法規「学校保健実務必携」 山口県養護教諭会「養護教諭の職務ハンドブック2022」	養護実習、小児看護学 教職科目

課題に対するフィードバック

毎回の授業の自己評価については、一人一人コメントをつけて次の授業時に返却する。
学生の気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	養護実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	自由	4	3年	前期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

小・中・高のいずれかの学校において、養護教諭の指導のもとに、実際に学校での児童・生徒の保健管理や保健教育を行い、養護教諭としての実践力を養うことを目的とする。具体的には、児童・生徒の実態への理解を深めるとともに、保健室の実習を中心として、学級運営や学習指導の観察・参加、保健教育なども体験する。このことを通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ応用できる能力を養い、養護教諭としての自覚を高める。事前、事後指導も行う。養護教諭の実務経験のもとに、養護実習を行う。

到達目標

- D3402
 1. 児童・生徒の学校生活の実態や心身の健康問題・発達課題を理解する。
 2. 場面に応じた適切な判断・処置・指導を行うことができる。

成績評価方法

- 実習評価表(50%)
 実習日誌・レポート(50%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習校で作成した「実習計画」にしたがって実施する。 予習として、指導案及び教材を作成する。 復習として、実習記録や資料の整理を行い、実習の振り返りを作成する。 実習報告としてPPTを作成する。</p>	<p>実習</p>
授業外学習	
<p>実習校で作成された実習計画を確認する。保健教育の指導案作成や教材づくりについて事前準備を行う。学校保健安全法に基づく養護教諭の職務内容について確認する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト: 本学作成「実習のガイドブック」 「養護実習の学び2020」 参考書: 第一法規「学校保健実務必携」 山口県養護教諭会 「養護教諭の職務ハンドブック2022」</p>	<p>養護実習指導、学校保健、養護概論、健康相談活動、小児看護学、教職科目</p>

課題に対するフィードバック

養護実習の学び報告集を作成し、報告会を開催して学びを共有する。報告会に実習校指導養護教諭、講師を招聘し、指導を受ける。報告会には2年次学生も参加させる。

備考

科目名	教職実践演習(養護教諭)			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講・演	自由	2	4年	後期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面(13回)と遠隔(2回)で実施する。

教育実習や学部における教職・教科専門科目についての学びを振り返り、自己の実践的課題を明らかにする。多様な健康課題、児童・生徒の心身の発達課題に対応するため、養護教諭の仕事内容や役割等についての実践事例をもとに、グループ討論を通して理解を深める。また、自らの社会人としての自覚、人間関係能力等について熟考し、教職への適性を含め、卒業後のキャリアを考える契機とする。

養護教諭の実務経験をもとに、教職実践演習(養護教諭)について授業を行う。

到達目標

D4401

1. 教職課程ならびに学部教育の学びを振り返り、養護教諭の様々な場面での活動について理解を深める。
2. 自らの学習活動を振り返り、今後の仕事や生き方にどう活かすか、展望をもつ。

成績評価方法

- レポート(40%)
- 授業態度(20%)
- グループワーク(20%)
- 演習(20%)

評価項目	評価基準						評価割合(%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート		10		10			20
宿題、授業外レポート		10	10				20
授業態度・授業参加度					20		20
プレゼンテーション							
グループワーク		10	10				20
演習				10	10		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション 【予習】履修カルテを確認する。(15分) 【復習】自己評価を行い課題点を明確にする。(15分)		遠隔 事例確認
2) 教職科目や養護実習の評価 【予習】教材資料を読んでおく。(15分) 【復習】養護実習日誌を読む。(15分)		グループワーク
3) 養護教諭のスキル（知識・技術）に関する振り返り 【予習】養護実習事例を読んでおく。(15分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)		グループワーク
4) 救急処置 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)		プレゼンテーション グループワーク・演習
5) 救急処置 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)		プレゼンテーション グループワーク・演習
6) 健康診断 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)		プレゼンテーション グループワーク
7) 疾病予防管理・環境管理 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)		プレゼンテーション グループワーク
8) 安全管理 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)		プレゼンテーション グループワーク
9) 保健教育 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)		プレゼンテーション グループワーク
10) 健康相談 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)		プレゼンテーション グループワーク
11) 生徒指導・特別支援教育・ケースマネジメント 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)		プレゼンテーション グループワーク
12) 保健組織活動 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)		プレゼンテーション グループワーク
13) 保健室経営 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)		プレゼンテーション グループワーク
14) 自己研鑽 【予習】学習資料を整理しておく。(20分) 【復習】今後の自分の課題をまとめる。(15分)		
15) 「チーム学校」における養護教諭の専門性と役割 【予習】自分の課題に対して課題解決のための取組について考えておく。(20分) 【復習】履修カルテの自己評価を行う。(15分)		遠隔 レポート
授業外学習		
予習として授業に関連する内容を「養護実習記録・養護実習の学び2022」から抽出し、整理する。 復習として他者の意見や配布資料を参考に、今後の仕事や生き方にどう生かすのかをまとめる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
教材；中村富美子著「養護教諭のスキルラダー」 本学作成「養護実習の学び2022」 実習記録		学校保健、養護概論、健康相談活動

課題に対するフィードバック

毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。
学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	ナーシングスタディ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	4年	後期
担当者名	清水 佑子、柿並 洋子、金川 真理、江口 恵里、立川 美香、藤村 雅子	関連する資格	看護師、保健師、養護教諭	

授業概要

基礎看護学、成人看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護論及び公衆衛生看護学の担当で4年間の看護学の総まとめを行う。具体的には特に重要なポイントを再度説明し、学生がグループワーク等を通して知識の再確認を行う。また視覚教材を利用し、人体の構造と機能および疾病の成り立ちの理解を行う。

到達目標

ナンバリング：B4404

- 1) 4年間の看護学の就学内容のまとめができる。
- 2) 4年間の看護学の知識において自分の課題を見出し、苦手科目を克服できる。
- 3) 卒業後、看護専門職業人としての心構えを養う。

成績評価方法

小テスト・学内レポートなど提出物すべてを対象とする。出席状況、授業態度。上記項目を総合して評価する。看護師国家試験の模擬試験を実施する。定期試験は行わない。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート	○	○	○				15
授業態度・授業参加度	○				○		70
プレゼンテーション							
グループワーク	○				○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション・人体の構造と機能・疾病の成り立ち【予習】60分：DVD視聴 予習キーワード：人体の構造・疾病の成り立ち看護師国家試験過去問題 【復習】 30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
2) 人体の構造と機能・疾病の成り立ち【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：人 体の構造・疾病の成り立ち看護師国家試験過去問題【復習】30分：講義資料から看 護のポイントを考える	講義内 小テスト
3) 人体の構造と機能・疾病の成り立ち【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：人 体の構造・疾病の成り立ち看護師国家試験過去問題【復習】30分：講義資料から看 護のポイントを考える	講義内 小テスト
4) 人体の構造と機能・疾病の成り立ち【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：人 体の構造・疾病の成り立ち看護師国家試験過去問題【復習】30分：講義資料から看 護のポイントを考える	講義内 小テスト
5) 基礎看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：基礎看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
6) 基礎看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：基礎看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
7) 基礎看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：基礎看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
8) 母性看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：母性看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
9) 小児看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：小児看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：演習から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
10) 成人看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：成人看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：演習から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
11) 老年看護学 【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：老年看護学看護師国家試験過去問題 【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
12) 在宅看護論【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：在宅看護論看護師国家試験 過去問題 【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
13) 精神看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：精神看護学看護師国家試験 過去問題 【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
14) 医療安全・倫理【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：医療安全・倫理看護師 国家試験過去問題 【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
15) 社会保障【予習】60分：DVD視聴予習キーワード：社会保障看護師国家試験過去問 題 【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
授業外学習	
模擬試験の振り返り、各講義の教員から出題された課題を行う。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業は、各担当の教員が準備するため、教科書の購入の必要は ないが、問題集、参考書は、学習しやすいものを各自が選んで 購入する。指定はしない。 看護学すべての教科書	基礎看護学、成人看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護 学、精神看護学、在宅看護論及び公衆衛生看護学

課題に対するフィードバック

成績の経過を個人に提示し、学力のアセスメントを教員とともに挙う。必要時は、個人面談を挙い、不得意な科目の取りこぼしがないよう個人レベルに合わせた指導する。

備考